

令和4年度

地域福祉に関する市民意識調査

結果報告書

平塚市

令和5年2月

# 目次

第1章 調査の概要	1
1 目的	2
2 調査方法	2
3 発送数及び回収結果	2
4 前回調査の概要	2
第2章 結果の概要	3
I ご自身についておたずねします	5
II 悩みごとや相談などについておたずねします	8
III ボランティア活動、地域交流などについておたずねします	24
IV 成年後見制度についておたずねします	39
第3章 結果の考察	49
1 結果の考察	50

# 第 1 章 調査の概要

## 1. 目的

令和6年度から5か年を計画期間とする次期地域福祉リーディングプランの改訂に向けた取組の一環として実施したもので、本調査により市民の皆さまから「地域福祉」に関する御意見をいただき、地域福祉リーディングプラン改訂にあたっての基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査方法

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| (1) 調査区域 | 平塚市全域                          |
| (2) 調査対象 | 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人       |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出                  |
| (4) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送） |
| (5) 調査期間 | 令和4年月9月2日（金）～9月30日（金）          |

## 3. 発送数及び回収結果

- |         |        |
|---------|--------|
| (1) 発送数 | 3,000件 |
| (2) 回収数 | 1,162件 |
| (3) 回収率 | 38.7%  |

## 4. 前回調査の概要

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| (1) 調査対象 | 平塚市内に在住する満20歳以上の男女3,000人       |
| (2) 抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出                  |
| (3) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送） |
| (4) 調査期間 | 平成29年7月28日（金）～8月25日（金）         |
| (5) 回収数  | 1,093件                         |
| (6) 回収率  | 36.4%                          |

## 第2章 結果の概要

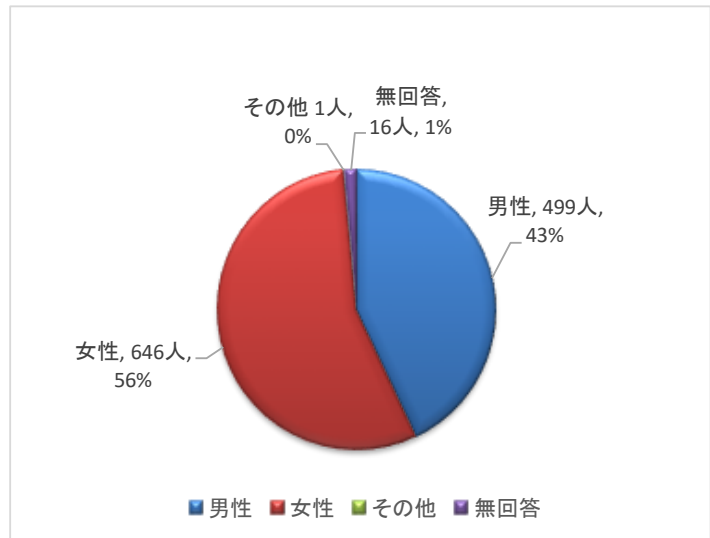


# I ご自身についておたずねします

問1 あなたの性別を次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

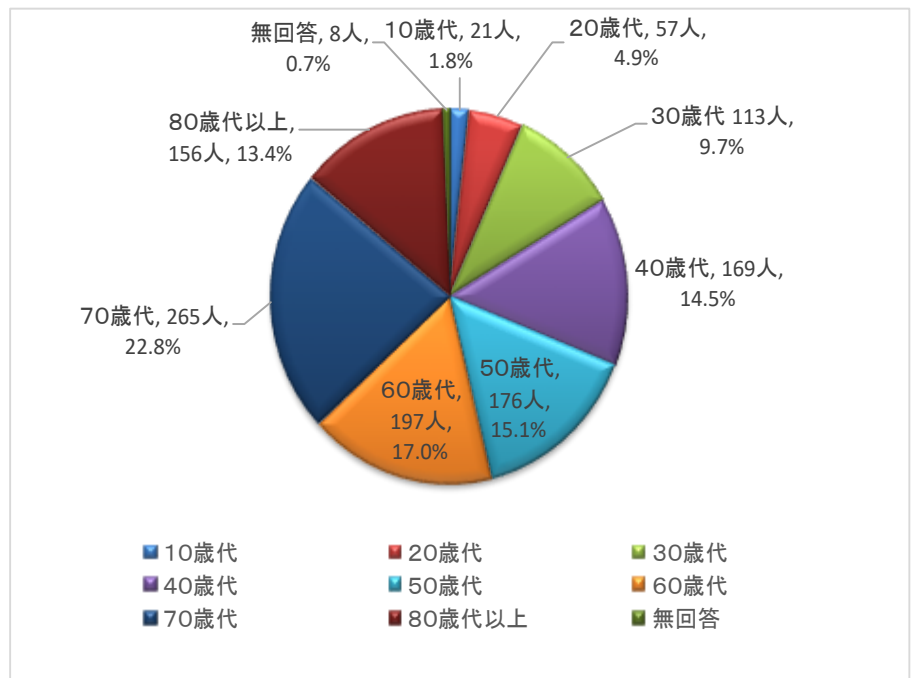
男性	499人	42.9%
女性	646人	55.6%
その他	1人	0.1%
無回答	16人	1.4%
計	1162人	



問2 あなたの年齢（令和4年8月1日現在の年齢）を次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |        |        |        |          |
|--------|--------|--------|----------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代   |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | 8 80歳代以上 |

10歳代	21人	1.8%
20歳代	57人	4.9%
30歳代	113人	9.7%
40歳代	169人	14.5%
50歳代	176人	15.1%
60歳代	197人	17.0%
70歳代	265人	22.8%
80歳代以上	156人	13.4%
無回答	8人	0.7%
計	1162人	



問3 あなたのお住まいの地区は、どちらですか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

1 旭南	2 旭北	3 四之宮	4 八幡	5 真土	6 中原
7 南原	8 松が丘	9 田村	10 横内	11 大神	12 金田
13 城島	14 豊田	15 岡崎	16 金目	17 土沢	18 なでしこ
19 花水	20 港	21 富士見	22 崇善	23 松原	

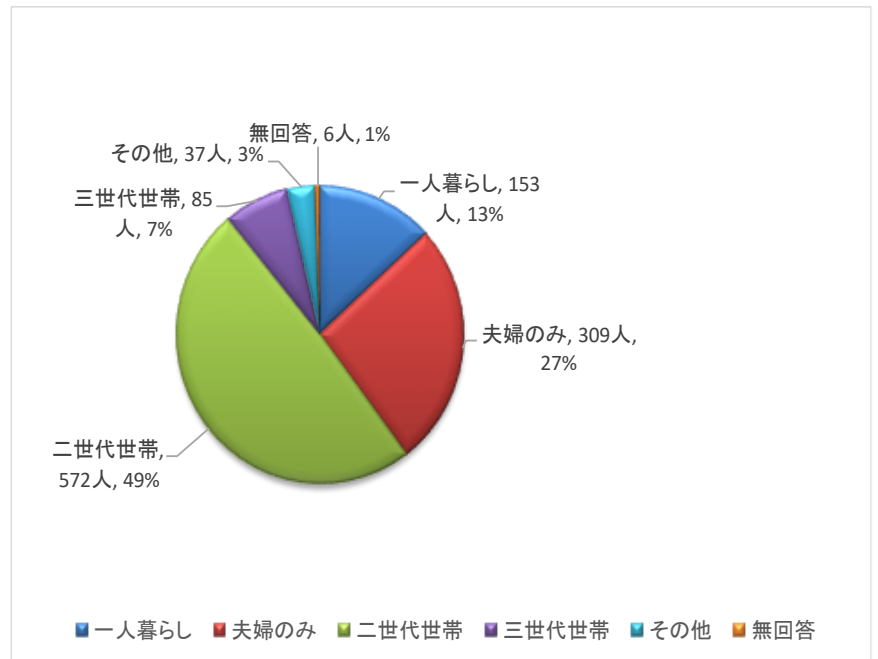
旭南	93人	8.0%
旭北	89人	7.7%
四之宮	44人	3.8%
八幡	40人	3.4%
真土	36人	3.1%
中原	76人	6.5%
南原	20人	1.7%
松が丘	18人	1.5%
田村	48人	4.1%
横内	39人	3.4%
大神	16人	1.4%
金田	47人	4.0%
城島	11人	0.9%
豊田	26人	2.2%
岡崎	37人	3.2%
金目	88人	7.6%
土沢	28人	2.4%
なでしこ	15人	1.3%
花水	111人	9.6%
港	73人	6.3%
富士見	80人	6.9%
崇善	87人	7.5%
松原	34人	2.9%
無回答	6人	0.5%
計	1162人	



問4 あなたの家族構成はどれですか。当てはまるものを1つ選び、マルで囲んでください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 一人暮らし         | 2 夫婦のみ            |
| 3 二世世代同居世帯（親、子） | 4 三世世代同居世帯（親、子、孫） |
| 5 その他（          | ）                 |

一人暮らし	153人	13.2%
夫婦のみ	309人	26.6%
二世世代世帯	572人	49.2%
三世世代世帯	85人	7.3%
その他	37人	3.2%
無回答	6人	0.5%
計	1162人	



## Ⅱ 悩みごとや相談などについておたずねします

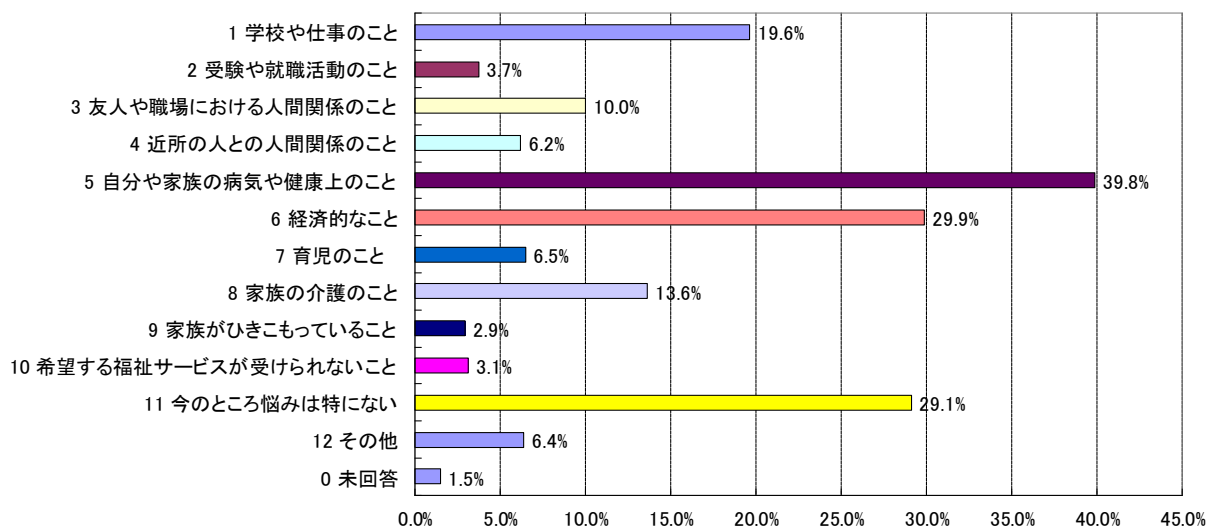
問5 現在、あなたはどのようなことで悩みやストレスを感じていますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1 学校や仕事のこと             | 2 受験や就職活動のこと |
| 3 友人や職場における人間関係のこと     |              |
| 4 近所の人との人間関係のこと        |              |
| 5 自分や家族の病気や健康上のこと      | 6 経済的なこと     |
| 7 育児のこと                | 8 家族の介護のこと   |
| 9 家族がひきこもっていること        |              |
| 10 希望する福祉サービスが受けられないこと |              |
| 11 今のところ悩みは特にない        |              |
| 12 その他（                | ）            |

### 【全体の傾向】

悩みやストレスについては、「5 自分や家族の病気や健康上のこと」が39.8%と最も高く、次いで、「6 経済的なこと」29.9%、「11 今のところ悩みは特にない」が29.1%と続いている。

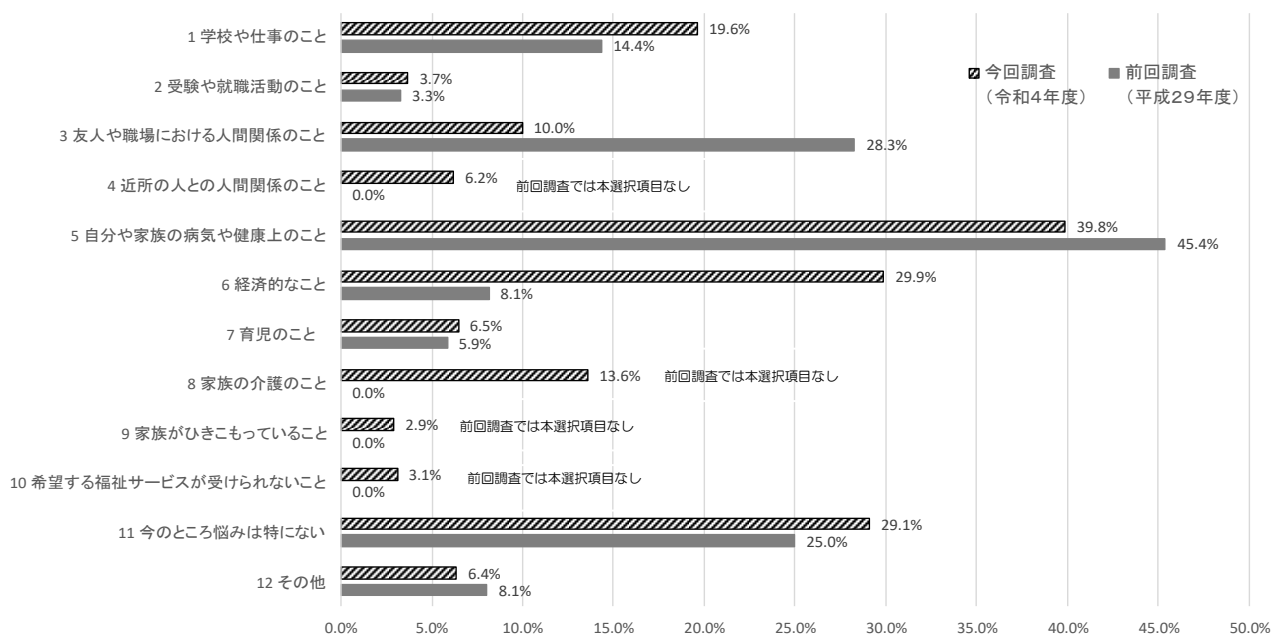
問5 現在、あなたはどのようなことで悩みやストレスを感じていますか。  
当てはまるもの3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

### 【前回調査との比較】

本質問は、前回調査から選択項目を変更したため単純に比較はできないが、平成 29 年度に実施した前回の調査（以下「前回調査」）と比較して、「3 友人や職場における人間関係のこと」が 18 ポイント以上減少したが、「6 経済的なこと」が 21 ポイント以上増加している。



【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

問6 悩みやストレスを感じたときに、相談できる(相談したい)相手はどれですか。  
 当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

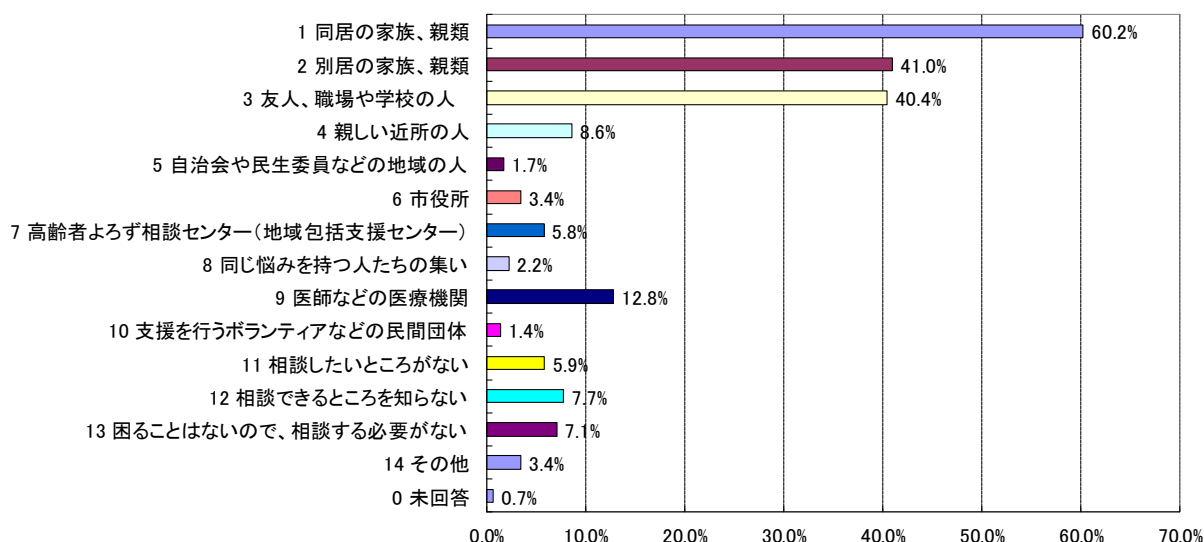
- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1 同居の家族、親類                 | 2 別居の家族、親類       |
| 3 友人、職場や学校の人               | 4 親しい近所の人        |
| 5 自治会や民生委員などの地域の人          | 6 市役所            |
| 7 高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター） |                  |
| 8 同じ悩みを持つ人たちの集い            | 9 医師などの医療機関      |
| 10 支援を行うボランティアなどの民間団体      |                  |
| 11 相談したいところがない             | 12 相談できるところを知らない |
| 13 困ることはないので、相談する必要がない     |                  |
| 14 その他（                    | ）                |

【全体の傾向】

悩みやストレスを相談できる相手としては、「1 同居の家族、親類」が60.2%と最も高く、次いで、「2 別居の家族、親類」が41%、「3 友人、職場や学校の人」が40.4%と続いている。

一方で、「11 相談したいところがない」「12 相談できるところを知らない」と回答した人が、合わせて13.6%となっている。

問6 悩みやストレスを感じたときに、相談できる(相談したい相手はどれですか。  
 当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

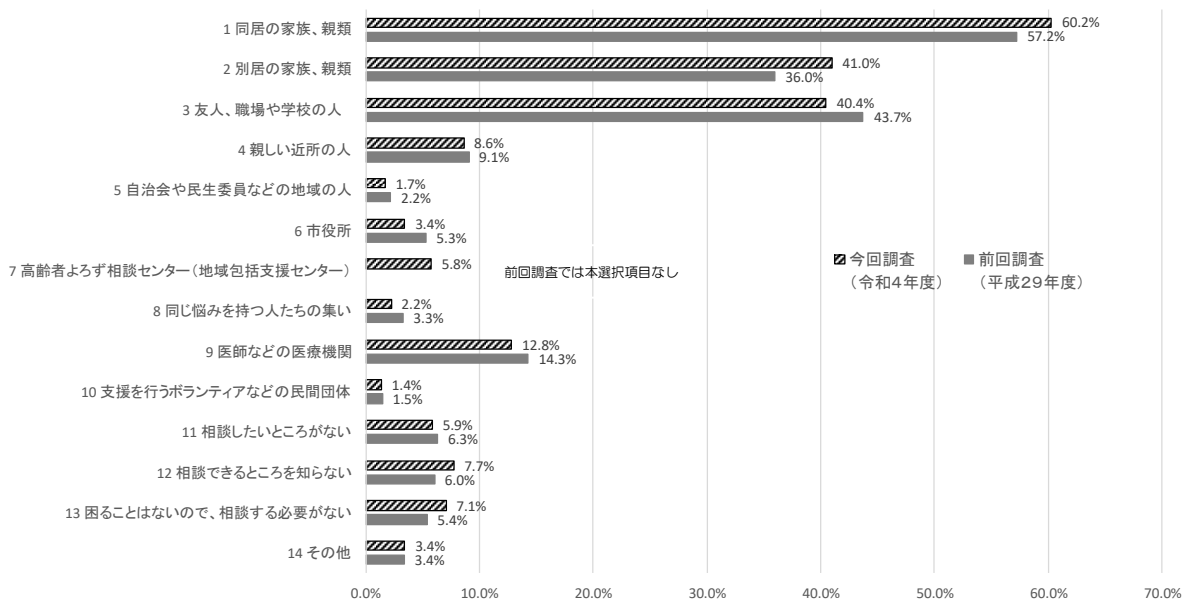


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

### 【前回調査との比較】

本質問は、前回調査から選択項目を変更したため単純に比較はできないが、前回調査と比較して、「2 別居の家族、親類」が5ポイント、「1 同居の家族、親類」が3ポイント増加している。

一方、「3 友人、職場や学校の人」が3ポイント以上減少している。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】



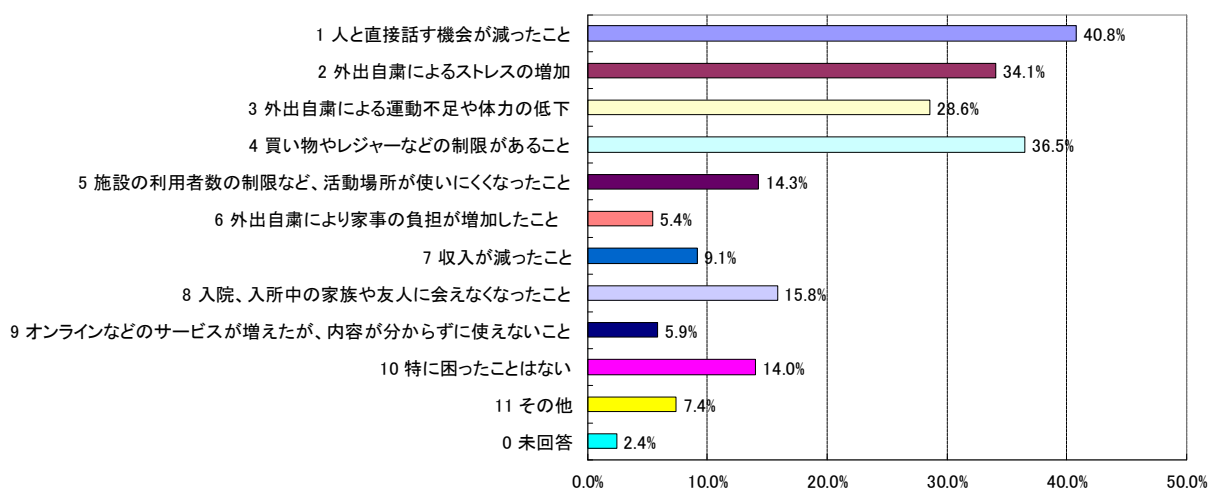
問8 あなたが、新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことは何ですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 1  | 人と直接話す機会が減ったこと                   |
| 2  | 外出自粛によるストレスの増加                   |
| 3  | 外出自粛による運動不足や体力の低下                |
| 4  | 買い物やレジャーなどの制限があること               |
| 5  | 施設の利用者数の制限など、活動場所が使いにくくなったこと     |
| 6  | 外出自粛により家事の負担が増加したこと              |
| 7  | 収入が減ったこと                         |
| 8  | 入院、入所中の家族や友人に会えなくなったこと           |
| 9  | オンラインなどのサービスが増えたが、内容が分からずに使えないこと |
| 10 | 特に困ったことはない                       |
| 11 | その他 ( )                          |

【全体の傾向】

新型コロナウイルス感染症の影響で困ったこととしては、「1 人と直接話す機会が減ったこと」が40.8%と最も高く、次いで、「4 買い物やレジャーなどの制限があること」が36.5%、「2 外出自粛によるストレスの増加」が34.1%と続いている。一方で、「10 特に困ったことはない」と答えた人は14%となっている。

問8 あなたが、新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことは何ですか。  
当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

※ 今回調査で新たに追加した質問のため、前回調査との比較なし

問9 人生100年時代と言われる中で、今後（この先）あなたはどのようなことを心配していますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

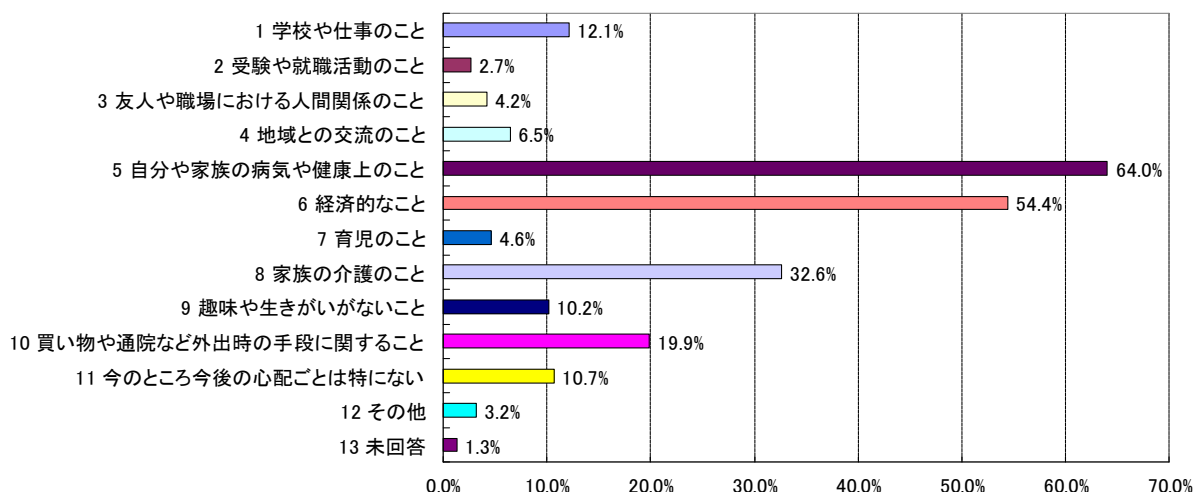
- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1 学校や仕事のこと              | 2 受験や就職活動のこと |
| 3 友人や職場における人間関係のこと      |              |
| 4 地域との交流のこと             |              |
| 5 自分や家族の病気や健康上のこと       | 6 経済的なこと     |
| 7 育児のこと                 | 8 家族の介護のこと   |
| 9 趣味や生きがいがないこと          |              |
| 10 買い物や通院など外出時の手段に関すること |              |
| 11 今のところ今後の心配ごとは特にない    |              |
| 12 その他（                 | ）            |

【全体の傾向】

今後の心配としては、「5 自分や家族の病気や健康上のこと」が64.0%と最も高く、次いで、「6 経済的なこと」が54.4%、「8 家族の介護のこと」が32.6%と続いている。

一方で、「11 今のところ今後の心配ごとは特にない」と答えた人は10.7%となっている。

問9 人生100年時代と言われる中で、今後（この先）あなたはどのようなことを心配していますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

※ 今回調査で新たに追加した質問のため、前回調査との比較なし



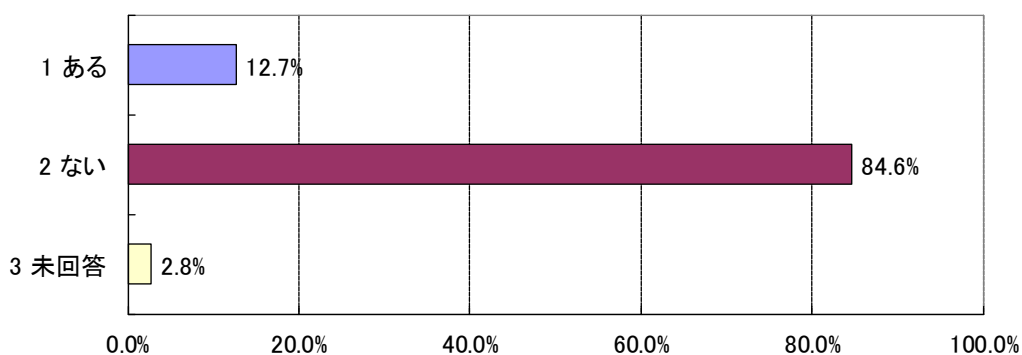
問10 あなたは、これまでに自殺を考えるほど深刻に悩んだことはありますか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

1 ある → 問11・12・13へ                      2 ない → 問14へ

【全体の傾向】

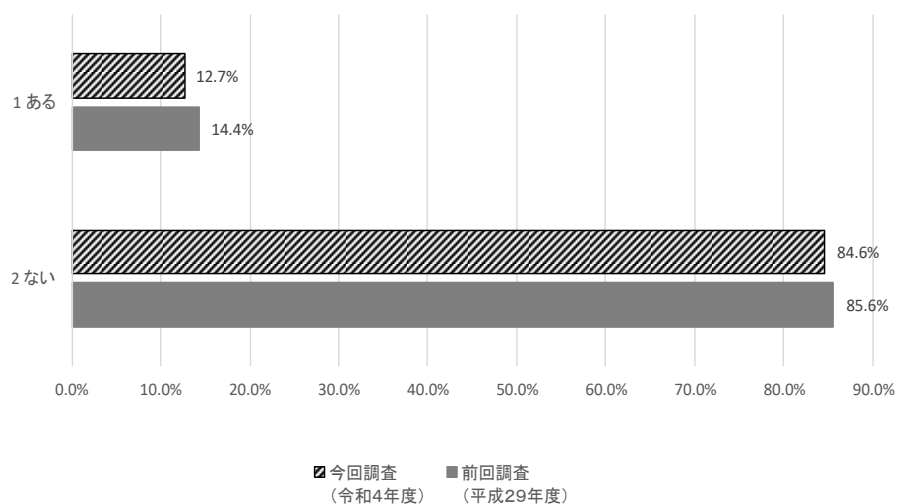
自殺を考えるほど深刻に悩んだことが、「1 ある」は12.7%となり、「2 ない」は84.6%となっている。

問10 あなたは、これまでに自殺を考えるほど深刻に悩んだことはありますか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、自殺を考えるほど深刻に悩んだことが「1 ある」は1.7ポイント減少している。



問 11 【問 10 で「1 ある」を選択された方にお伺いします】

自殺を考えるほど悩んだ（悩んでいる）ことは何ですか。当てはまるものを  
3つまで選び、マルで囲んでください。

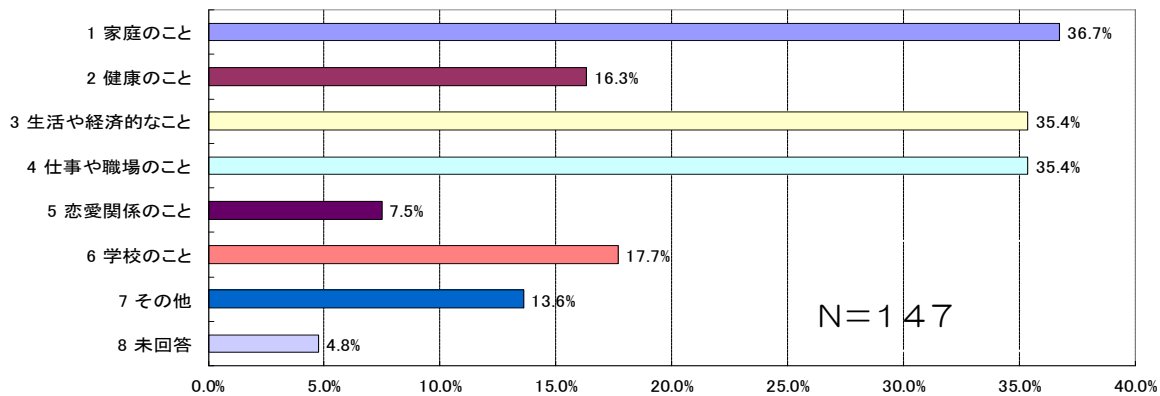
- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 1 家庭のこと    | 2 健康のこと   | 3 生活や経済的なこと |
| 4 仕事や職場のこと | 5 恋愛関係のこと | 6 学校のこと     |
| 7 その他（     |           | ）           |

➡ 問 12 へ

【全体の傾向】

自殺を考えるほど悩んだこととしては、「1 家庭のこと」が 36.7%と最も高く、次いで、「3 生活や経済的なこと」と「4 仕事や職場のこと」が 35.4%と同率で並び、「6 学校のこと」が 17.7%と続いている。

問11 【問10で「1 ある」を選択された方にお伺いします】自殺を考えるほど悩んだ（悩んでいる）ことは何ですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

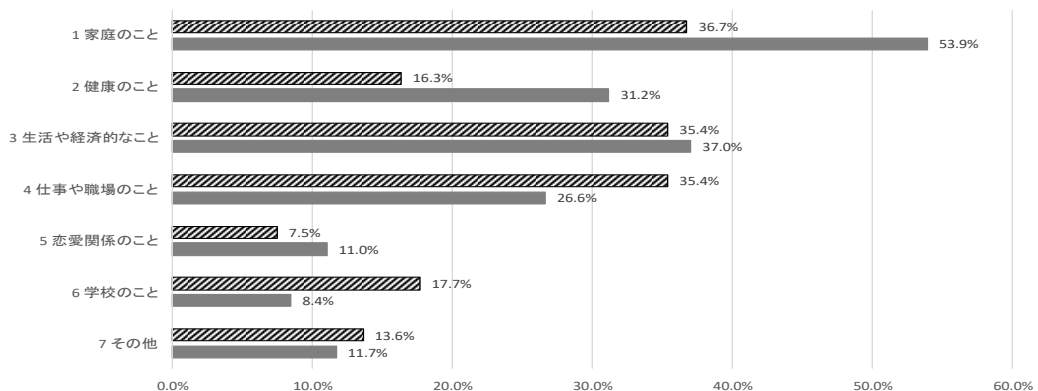


【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 家庭のこと」が 17 ポイント以上、「2 健康のこと」が 14 ポイント以上減少している。

一方、「4 仕事や職場のこと」が 8 ポイント以上、「6 学校のこと」が 9 ポイント以上増加している。



■ 今回調査 (令和4年度) ■ 前回調査 (平成29年度)

【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

問 12 【問 10 で「1 ある」を選択された方にお伺いします】

自殺を考えるほどの悩みについて、相談したいと思う専門機関はどこですか。  
 当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

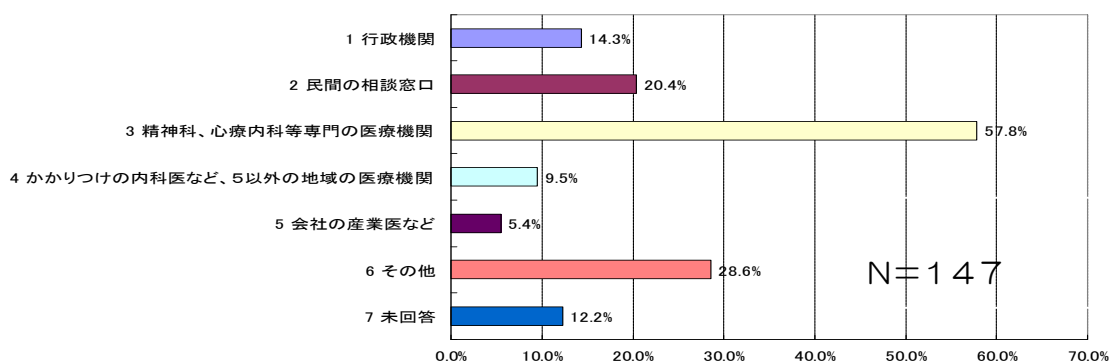
- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 行政機関                    |
| 2 | 民間の相談窓口                 |
| 3 | 精神科、心療内科等専門の医療機関        |
| 4 | かかりつけの内科医など、5以外の地域の医療機関 |
| 5 | 会社の産業医など                |
| 6 | その他 ( )                 |

→ 問 13 へ

【全体の傾向】

相談したいと思う専門機関については、「3 精神科、心療内科等専門の医療機関」が 57.8%と最も高く、次いで、「6 その他」が 28.6%、「2 民間の相談窓口」が 20.4%と続いている。

問12 【問10で「1 ある」を選択された方にお伺いします】自殺を考えるほどの悩みについて、相談したいと思う専門機関はどこですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

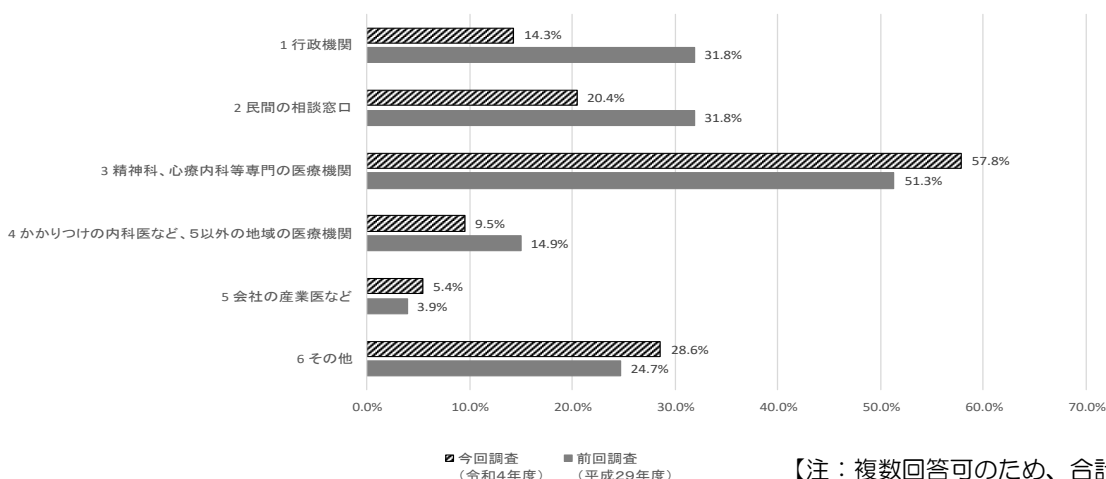


【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 精神科、心療内科等専門の医療機関」が6ポイント以上増加している。

一方、「1 行政機関」が17ポイント以上、「2 民間の相談窓口」が11ポイント以上減少している。

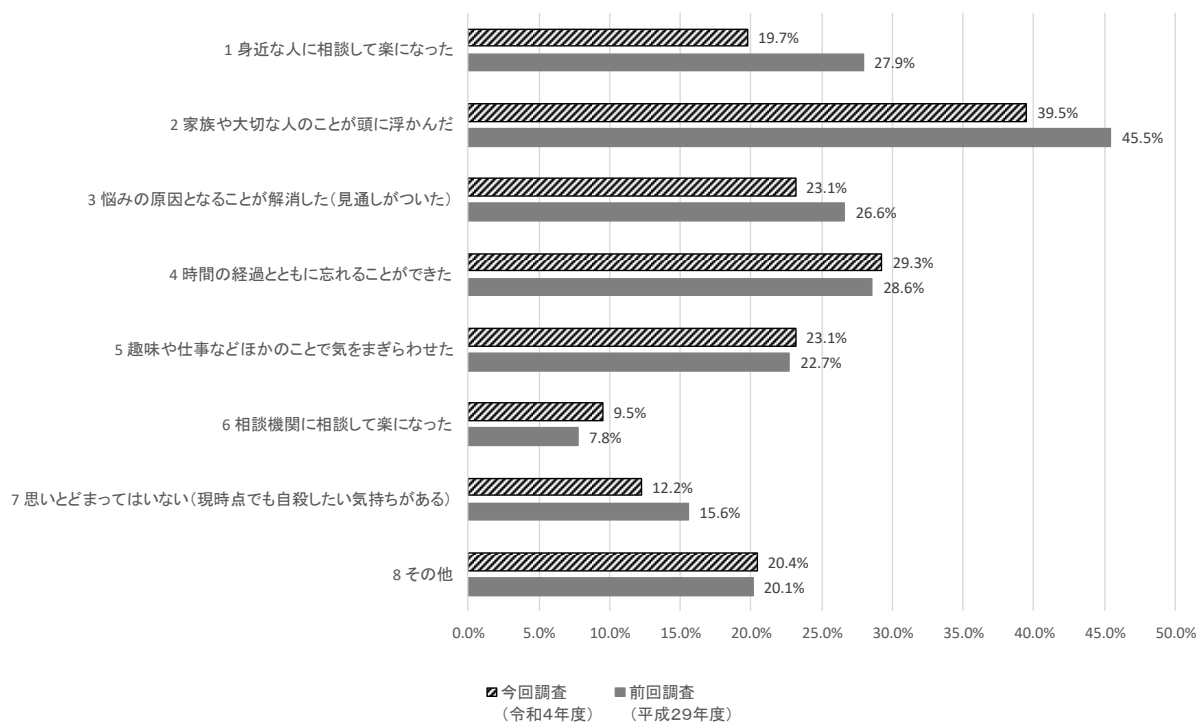


【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】



### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 身近な人に相談して楽になった」が8ポイント以上、「2 家族や大切な人のことが頭に浮かんだ」が6ポイント減少している。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

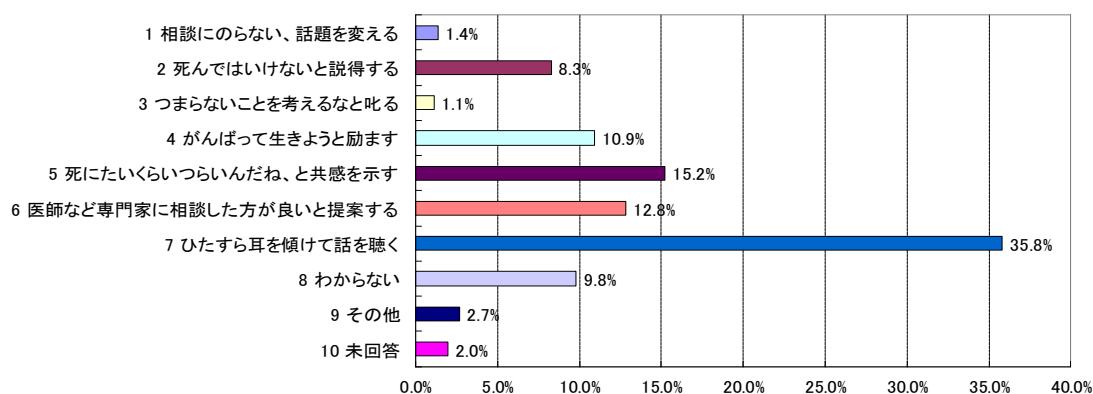
問 14 もし身近な人から「死にたい」と打ち明けられたら、あなたはどのように対応するのが良いと思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1 相談にのらない、話題を変える        | 2 死んではいけないと説得する |
| 3 つまらないことを考えるなど叱る       | 4 がんばって生きようと励ます |
| 5 死にたいくらいつらいんだね、と共感を示す  |                 |
| 6 医師など専門家に相談した方が良いと提案する |                 |
| 7 ひたすら耳を傾けて話を聴く         | 8 わからない         |
| 9 その他 (                 | )               |

### 【全体の傾向】

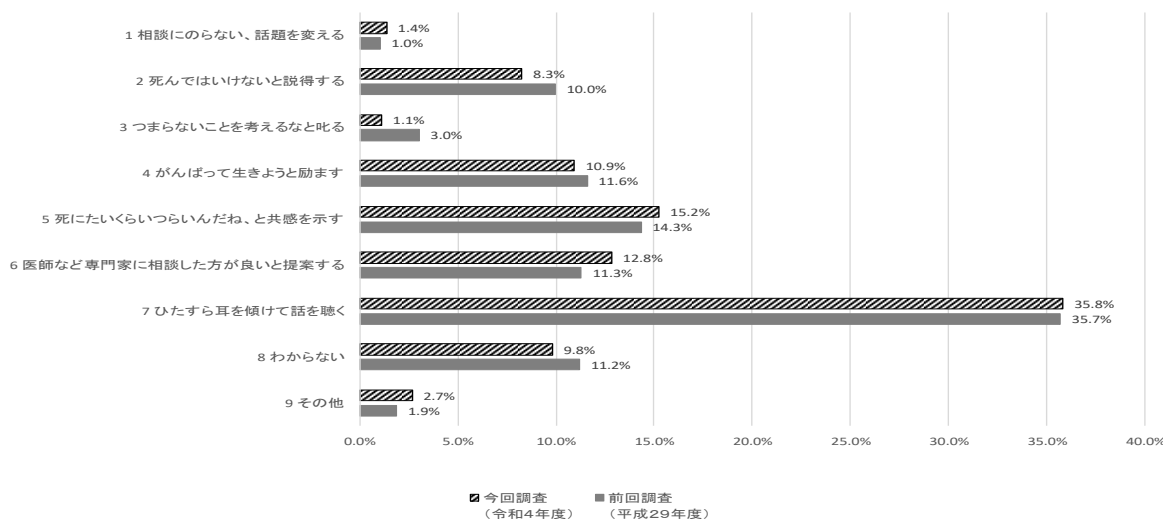
「死にたい」と打ち明けられた時の対応としては、「7 ひたすら耳を傾けて話を聴く」が35.8%と最も高く、次いで、「5 死にたいくらいつらいんだね、と共感を示す」が15.2%、「6 医師など専門家に相談した方が良いと提案する」が12.8%と続いている。

問14 もし身近な人から「死にたい」と打ち明けられたら、あなたはどのように対応するのが良いと思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



### 【前回調査との比較】

「7 ひたすら耳を傾けて話を聴く」が今回調査においても35%を超え、最も高く、次いで、「5 死にたいくらいつらいんだね、と共感を示す」が続いており、全体的な傾向に変化は見られない。



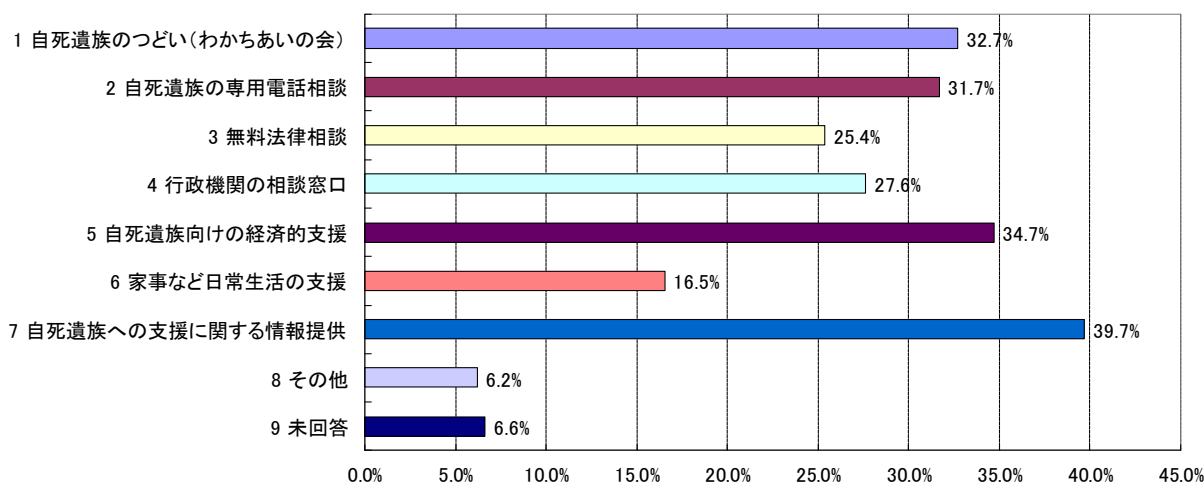
問 15 自死（自殺）遺族への支援として有効と思われるものはありますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1 自死遺族のつどい（わかちあいの会） | 2 自死遺族の専用電話相談 |
| 3 無料法律相談            | 4 行政機関の相談窓口   |
| 5 自死遺族向けの経済的支援      | 6 家事など日常生活の支援 |
| 7 自死遺族への支援に関する情報提供  |               |
| 8 その他（              | ）             |

【全体の傾向】

自死（自殺）遺族への支援としては、「7 自死遺族への支援に関する情報提供」が39.7%と最も高く、次いで、「5 自死遺族向けの経済的支援」が34.7%、「1 自死遺族のつどい（わかちあいの会）」が32.7%と続いている。

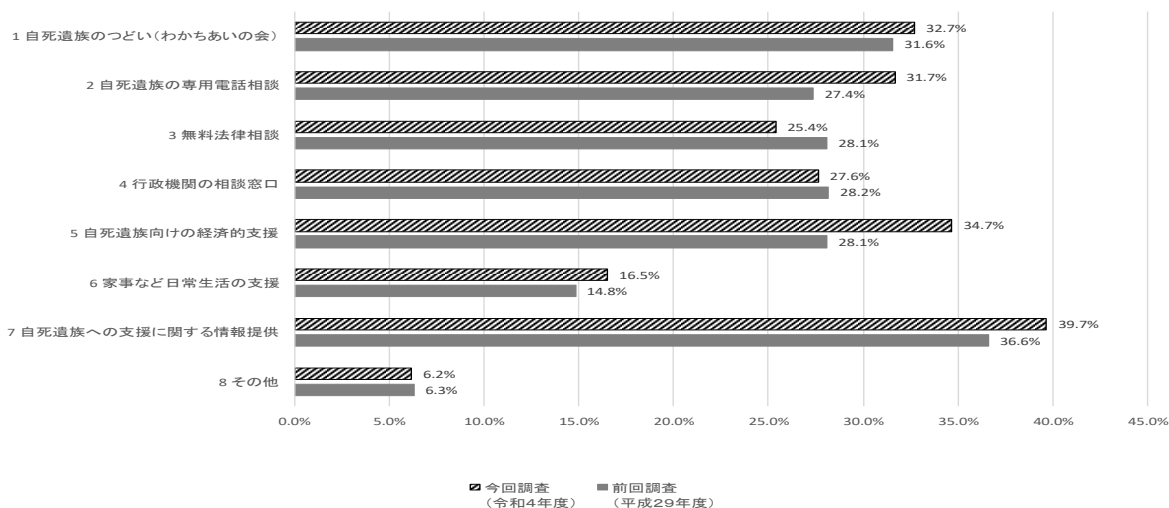
問15 自死（自殺）遺族への支援として有効と思われるものはありますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「5 自死遺族向けの経済的支援」が6ポイント以上、「2 自死遺族の専用電話相談」が4ポイント以上増加している。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

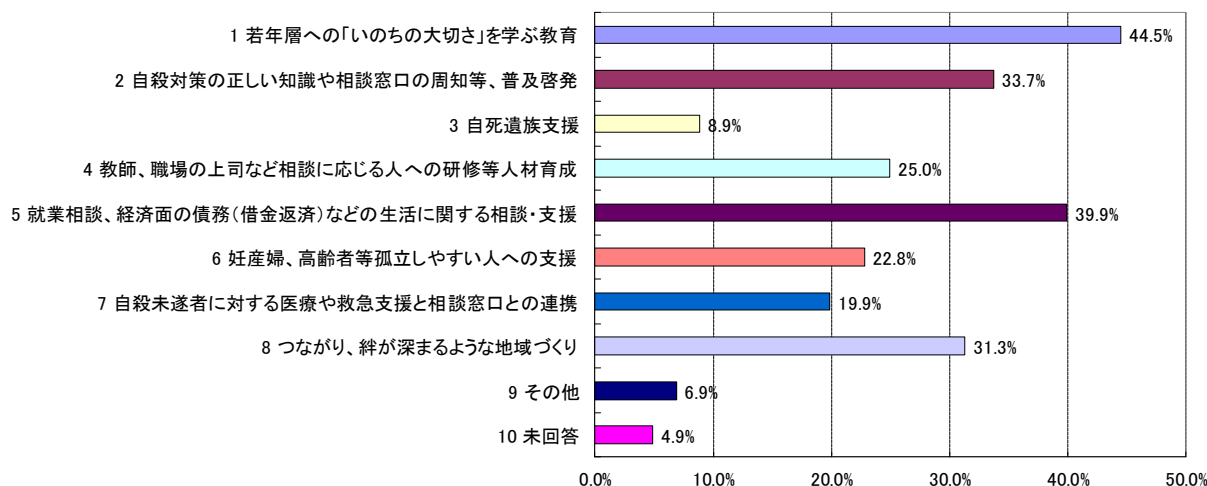
問 16 自殺対策として大切だと思うことや、充実させるべきと思うことはどのようなものですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | 若年層への「いのちの大切さ」を学ぶ教育             |
| 2 | 自殺対策の正しい知識や相談窓口の周知等、普及啓発        |
| 3 | 自死遺族支援                          |
| 4 | 教師、職場の上司など相談に応じる人への研修等人材育成      |
| 5 | 就業相談、経済面の債務（借金返済）などの生活に関する相談・支援 |
| 6 | 妊産婦、高齢者等孤立しやすい人への支援             |
| 7 | 自殺未遂者に対する医療や救急支援と相談窓口との連携       |
| 8 | つながり、絆が深まるような地域づくり              |
| 9 | その他（                            |

【全体の傾向】

自殺対策として大切なことや充実させるべきと思うこととしては、「1 若年層への『いのちの大切さ』を学ぶ教育」が 44.5%と最も高く、次いで、「5 就業相談、経済面の債務（借金返済）などの生活に関する相談・支援」が 39.9%、「2 自殺対策の正しい知識や相談窓口の周知等、普及啓発」が 33.7%と続いている。

問16 自殺対策として大切だと思うことや、充実させるべきと思うことはどのようなものですか。  
当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



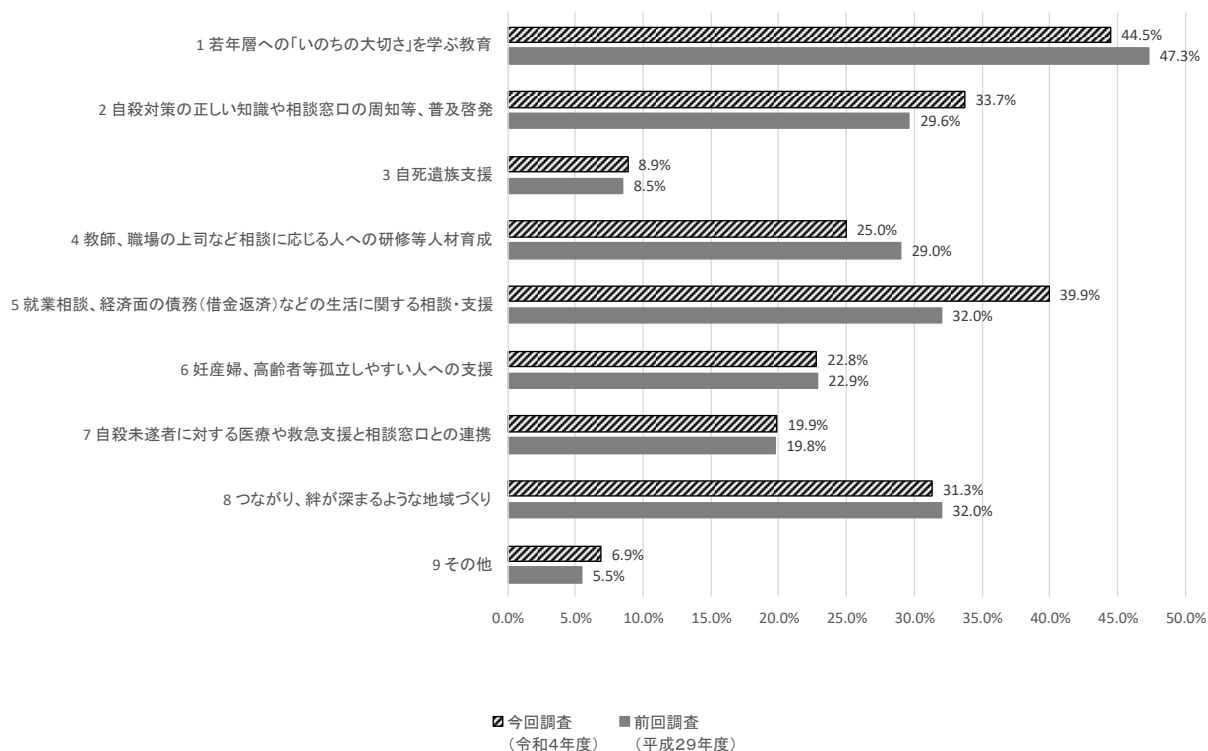
【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】



### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「5 就業相談、経済面の債務（借金返済）などの生活に関する相談・支援」が7ポイント以上、「2 自殺対策の正しい知識や相談窓口の周知等、普及啓発」が4ポイント以上増加している。

一方、「4 教師、職場の上司など相談に応じる人への研修等人材育成」が4ポイント減少している。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

### Ⅲ ボランティア活動、地域交流などについておたずねします

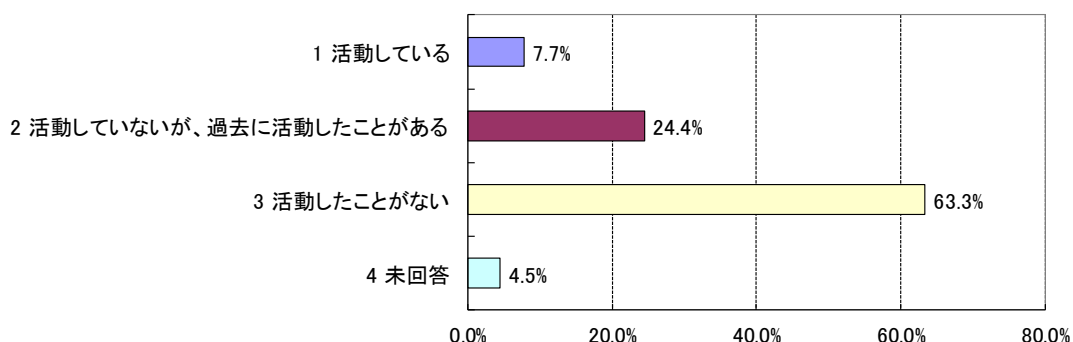
問 17 あなたは、これまでにボランティア活動をしたことがありますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

1 活動している	} →	問 18 へ
2 活動していないが、過去に活動したことがある		
3 活動したことがない	→	問 19 へ

#### 【全体の傾向】

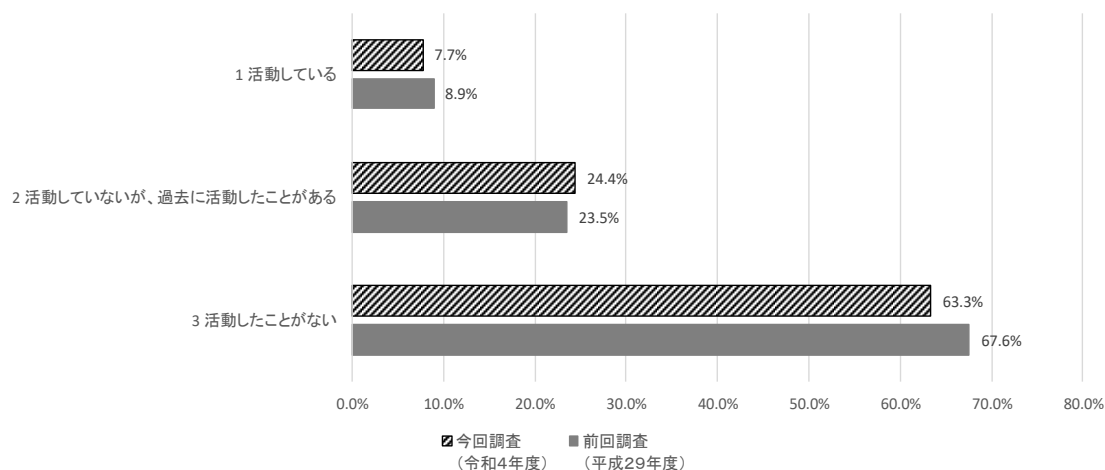
ボランティア活動については、「3 活動したことがない」が63.3%と最も高く、次いで、「2 活動していないが、過去に活動したことがある」が24.4%、「1 活動している」が7.7%と続いている。

問17 あなたは、これまでにボランティア活動をしたことがありますか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



#### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 活動したことがない」が4ポイント以上減少している。全体的な傾向に変化は見られない。



問 18 【問 17 で「1 活動している」「2 活動していないが、過去に活動したことがある」を選択された方にお伺いします】

あなたがしている（していた）ボランティア活動はどのような内容ですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

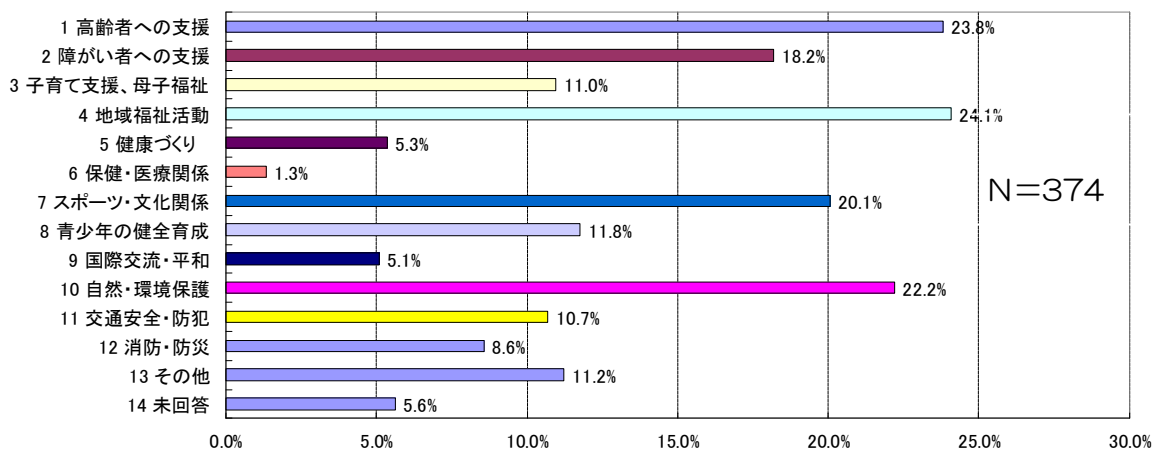
- |             |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| 1 高齢者への支援   | 2 障がい者への支援 | 3 子育て支援、母子福祉 |
| 4 地域福祉活動    | 5 健康づくり    | 6 保健・医療関係    |
| 7 スポーツ・文化関係 | 8 青少年の健全育成 | 9 国際交流・平和    |
| 10 自然・環境保護  | 11 交通安全・防犯 | 12 消防・防災     |
| 13 その他（     |            | ）            |

→ 問 20 へ

【全体の傾向】

ボランティア活動の内容としては、「4 地域福祉活動」が 24.1%と最も高く、次いで、「1 高齢者への支援」が 23.8%、「10 自然・環境保護」22.2%、「7 スポーツ・文化関係」20.1%と続いている。

問18 【問17で「1 活動している」「2 活動していないが、過去に活動したことがある」を選択された方にお伺いします】  
あなたがしている（していた）ボランティア活動はどのような内容ですか。  
当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

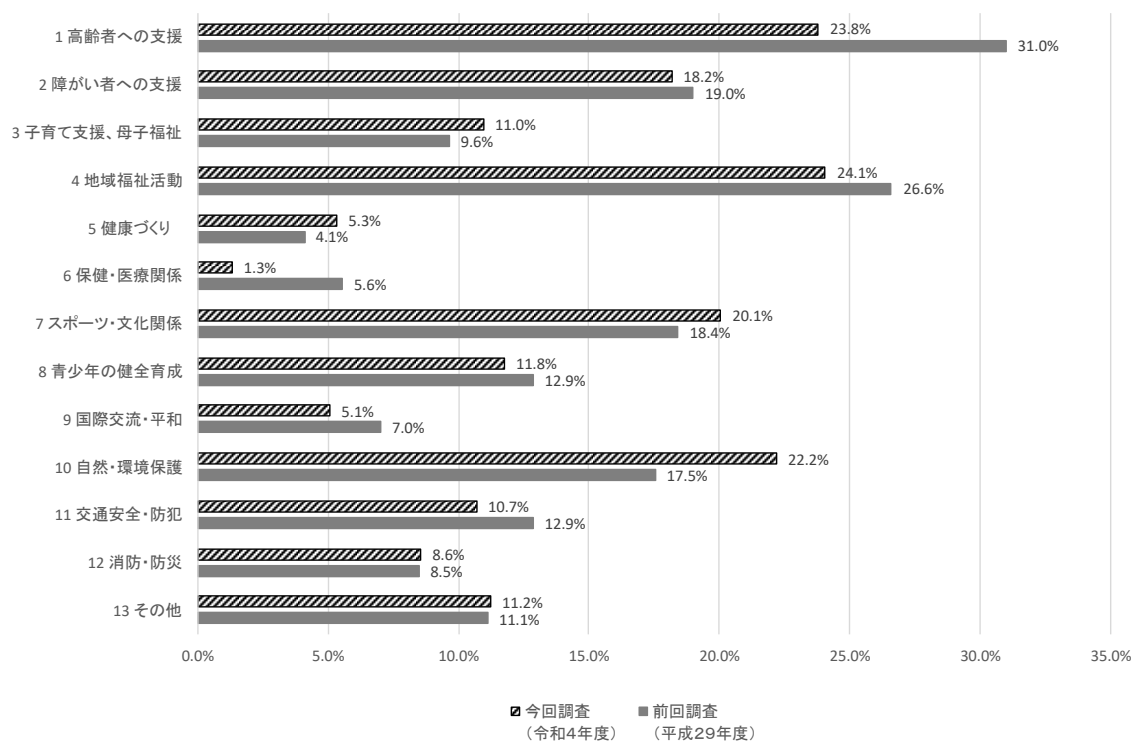


【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 高齢者への支援」が7ポイント以上、「6 保健・医療関係」が4ポイント以上減少している。

一方、「10 自然・環境保護」は、4ポイント以上増加している。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

問 19 【問 17 で「3 活動したことがない」を選択された方にお伺いします】

ボランティア活動したことがない理由は何ですか。当てはまるものを3つまで  
選び、マルで囲んでください。

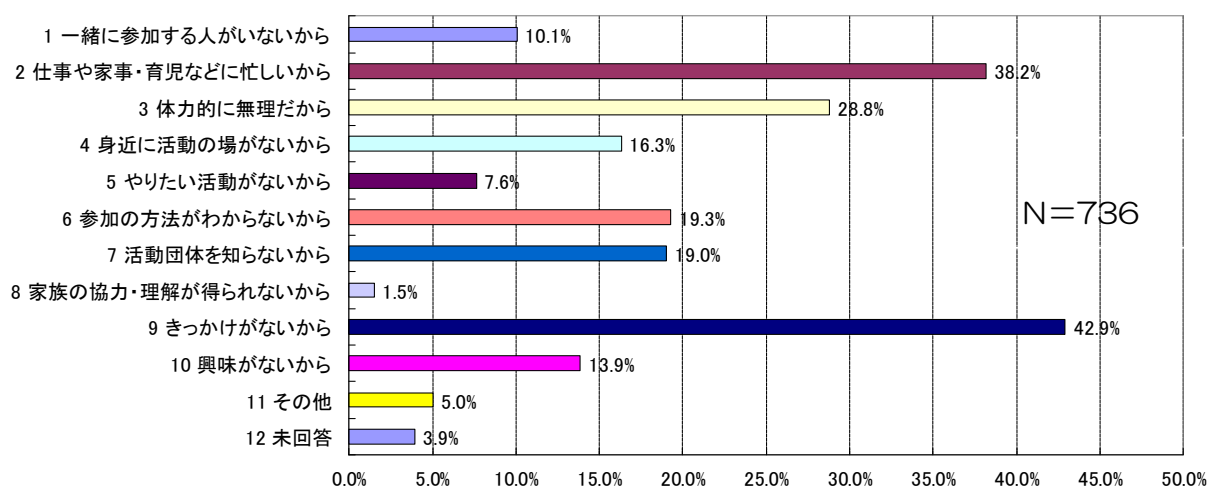
- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 一緒に参加する人がいないから   | 4 身近に活動の場がないから     |
| 2 仕事や家事・育児などに忙しいから | 6 参加の方法がわからないから    |
| 3 体力的に無理だから        | 8 家族の協力・理解が得られないから |
| 5 やりたい活動がないから      | 10 興味がないから         |
| 7 活動団体を知らないから      |                    |
| 9 きっかけがないから        |                    |
| 11 その他 ( )         |                    |

→ 問 20 へ

【全体の傾向】

ボランティア活動をしたことがない理由としては、「9 きっかけがないから」が  
 42.9%と最も高く、次いで、「2 仕事や家事・育児などに忙しいから」が 38.2%、  
 「3 体力的に無理だから」が 28.8%と続いている。

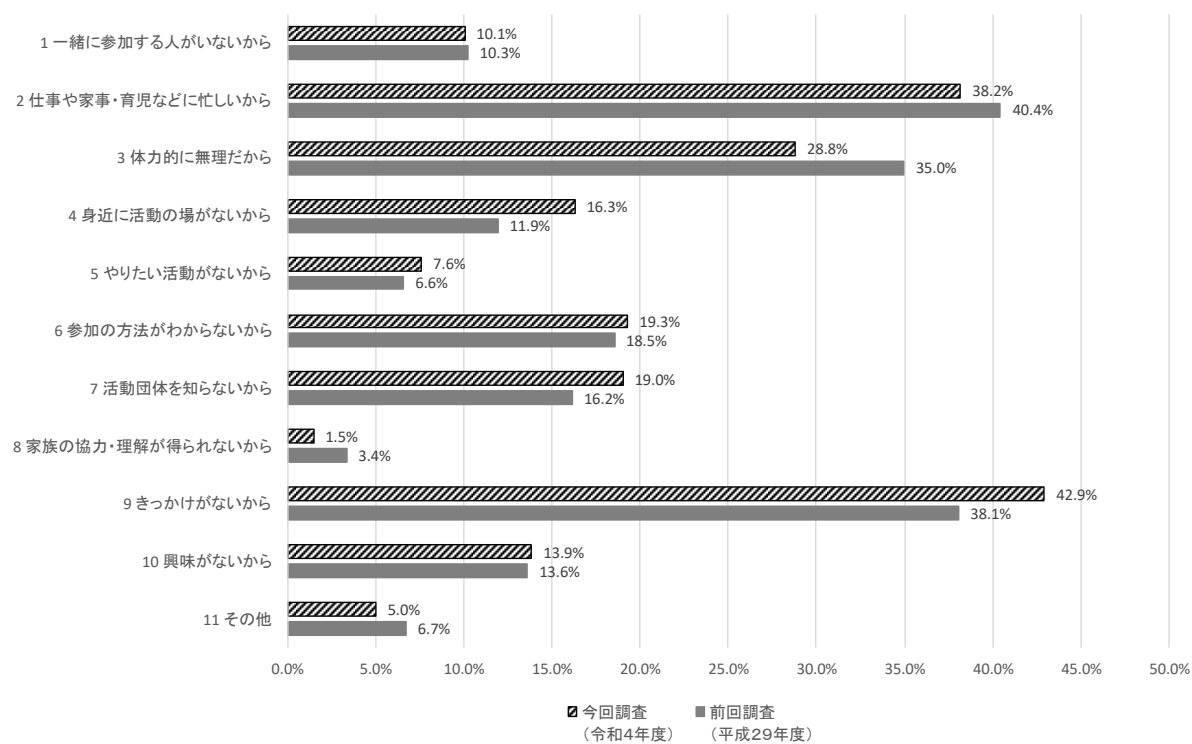
問19【問17で「3 活動したことがない」を選択された方にお伺いします】  
 ボランティア活動したことがない理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 体力的に無理だから」が6ポイント以上減少している。一方、「9 きっかけがないから」が4ポイント以上増加し、今回調査では最も多くなっている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

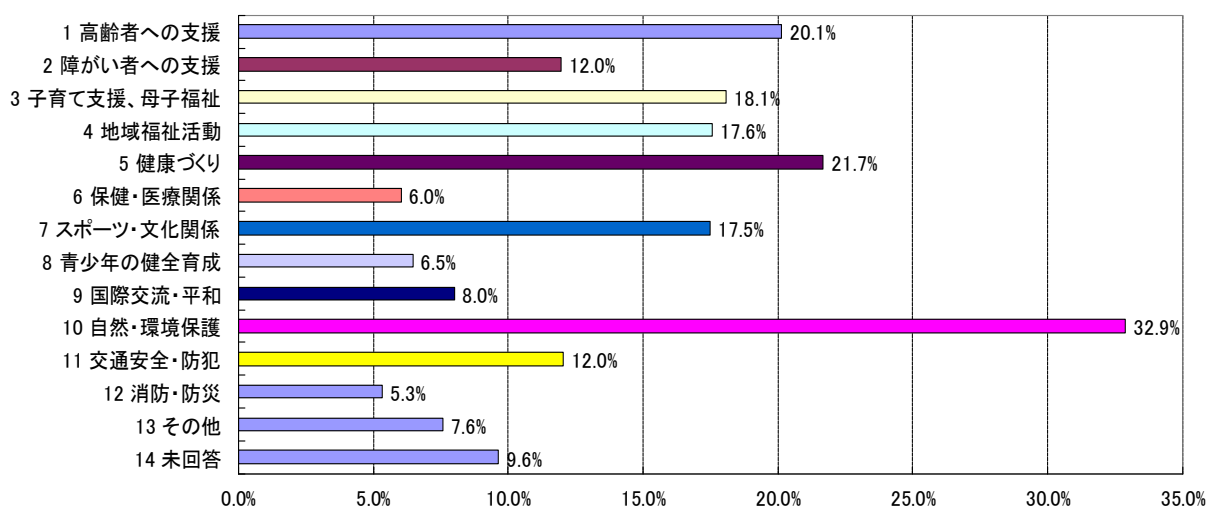
問 20 あなたが今後ボランティア活動に参加するとしたら、どの活動に関心がありますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |             |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| 1 高齢者への支援   | 2 障がい者への支援 | 3 子育て支援、母子福祉 |
| 4 地域福祉活動    | 5 健康づくり    | 6 保健・医療関係    |
| 7 スポーツ・文化関係 | 8 青少年の健全育成 | 9 国際交流・平和    |
| 10 自然・環境保護  | 11 交通安全・防犯 | 12 消防・防災     |
| 13 その他（     |            | ）            |

【全体の傾向】

関心があるボランティア活動としては、「10 自然・環境保護」が32.9%と最も高く、次いで、「5 健康づくり」が21.7%、「1 高齢者への支援」が20.1%、「3 子育て支援、母子福祉」が18.1%と続いている。

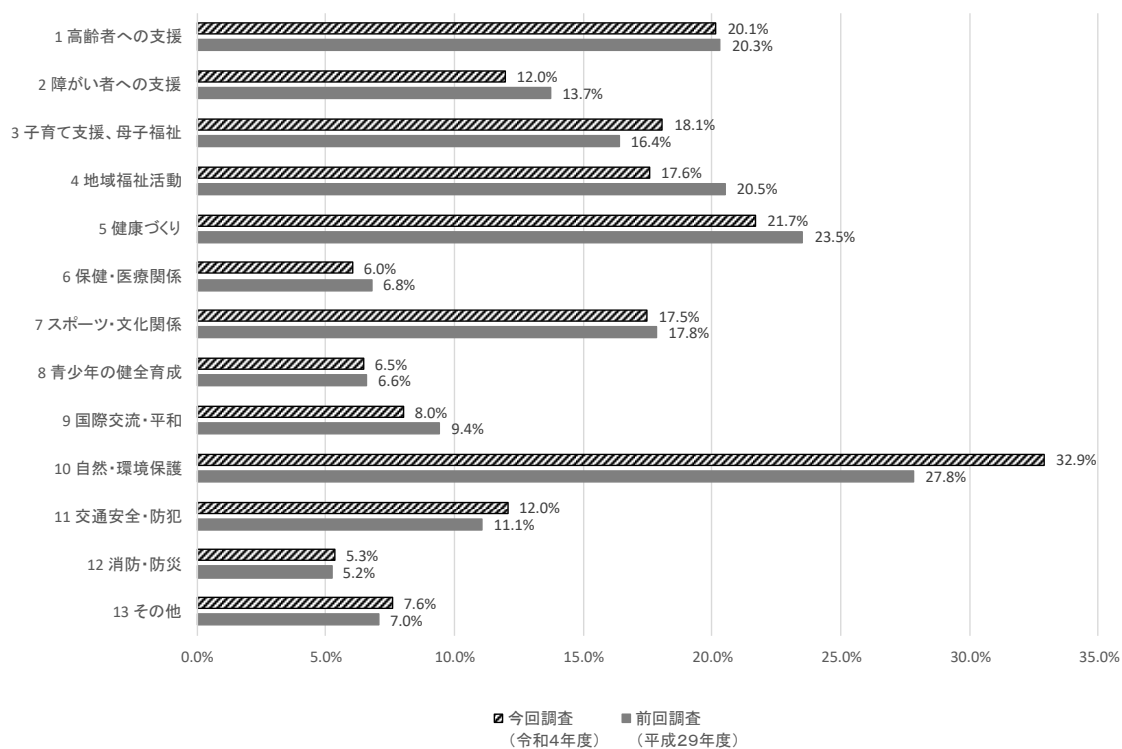
問20 あなたが今後ボランティア活動に参加するとしたら、どの活動に関心がありますか。  
当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「10 自然・環境保護」が5ポイント以上増加し、前回調査と同様、最も高い割合となっている。全体的な傾向に変化は見られない。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】



問 21 あなたは、ふだん近所の人と、どの程度の付き合いをしていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

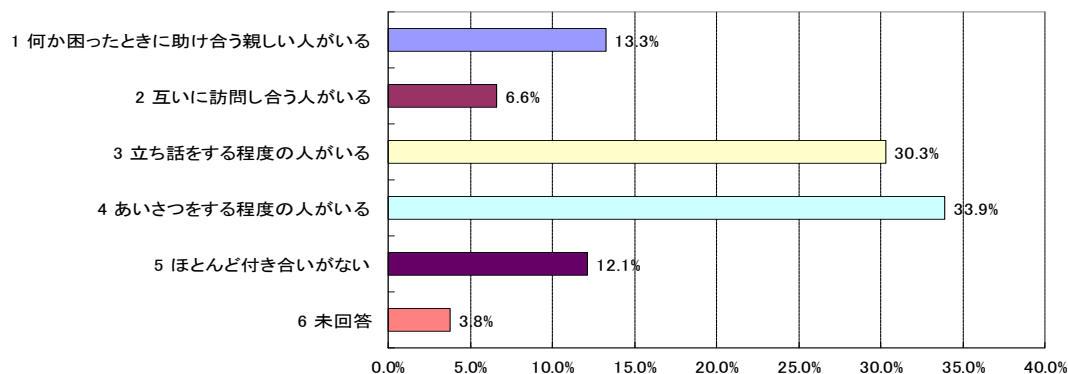
- |                       |
|-----------------------|
| 1 何か困ったときに助け合う親しい人がいる |
| 2 互いに訪問し合う人がいる        |
| 3 立ち話をする程度の人がある       |
| 4 あいさつをする程度の人がある      |
| 5 ほとんど付き合いがない         |

【全体の傾向】

近所の人との付き合いの程度としては、「4 あいさつをする程度の人がある」が33.9%と最も高く、次いで、「3 立ち話をする程度の人がある」が30.3%、「1 何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が13.3%と続いている。

一方、「5 ほとんど付き合いがない」は12.1%となっている。

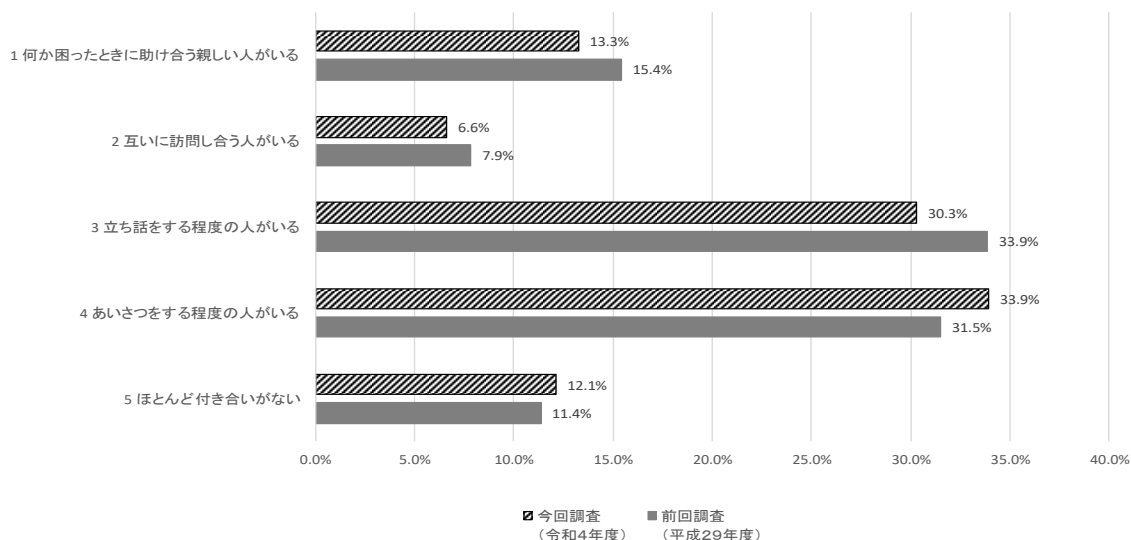
問21 あなたは、ふだん近所の人と、どの程度の付き合いをしていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 立ち話をする程度の人がある」が3ポイント以上減少している。

一方、「4 あいさつをする程度の人がある」が2ポイント以上増加しており、今回調査では最も高い割合となっている。



問 22 あなたや家族が困ったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

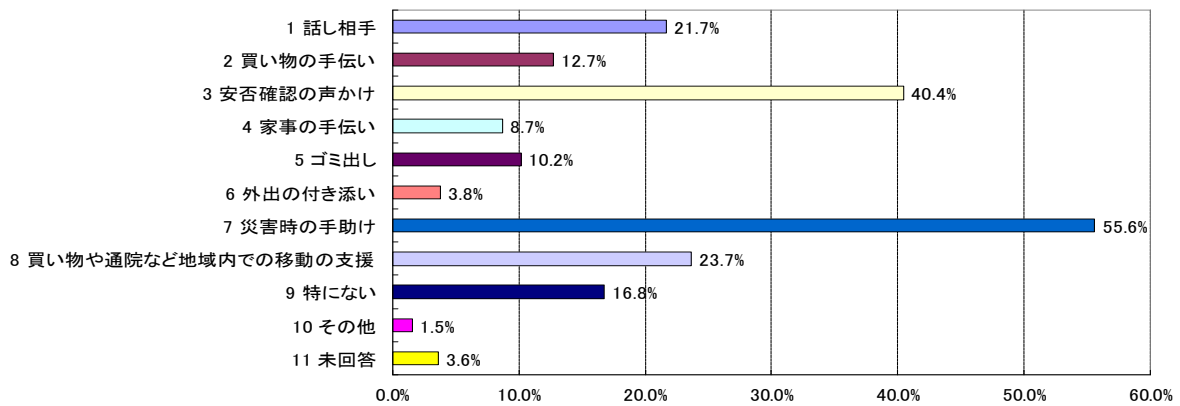
- |            |                      |            |
|------------|----------------------|------------|
| 1 話し相手     | 2 買い物の手伝い            | 3 安否確認の声かけ |
| 4 家事の手伝い   | 5 ゴミ出し               | 6 外出の付き添い  |
| 7 災害時の手助け  | 8 買い物や通院など地域内での移動の支援 |            |
| 9 特にない     |                      |            |
| 10 その他 ( ) |                      |            |

【全体の傾向】

地域で手助けしてほしいこととしては、「7 災害時の手助け」が 55.6%と最も高く、次いで、「3 安否確認の声かけ」が 40.4%、「8 買い物や通院など地域内での移動の支援」が 23.7%と続いている。

一方、「9 特にない」は 16.8%となっている。

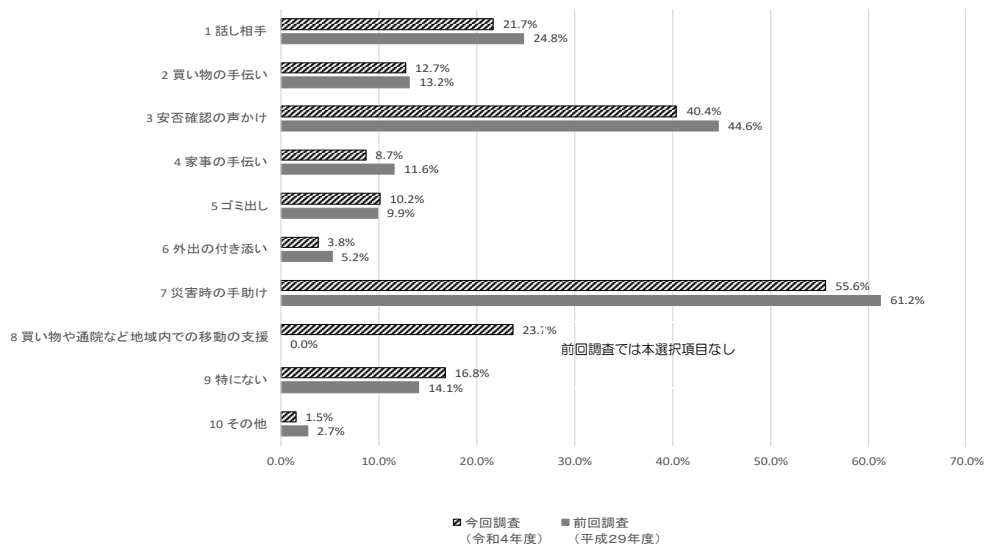
問22 あなたや家族が困ったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

前回調査から回答項目を変更したため、単純には比較できないが、「7 災害時の手助け」、「3 安否確認の声かけ」が前回調査も今回調査も高い割合となっている。また、今回調査で新たに追加した回答項目の「8 買い物や通院など地域内での移動の支援」は、3番目に高い割合となっている。



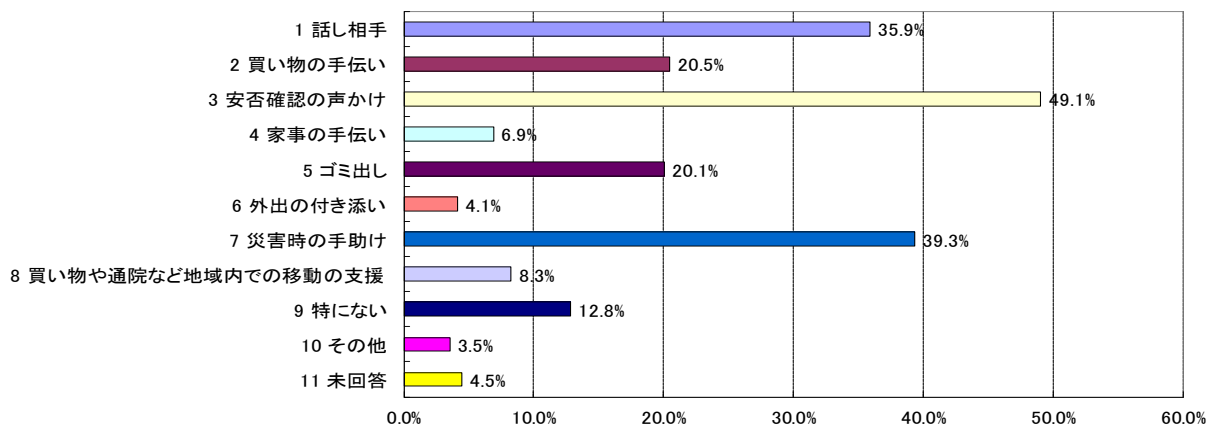
問 23 あなたは地域の中でどのような手助けができますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

- |            |                      |            |
|------------|----------------------|------------|
| 1 話し相手     | 2 買い物の手伝い            | 3 安否確認の声かけ |
| 4 家事の手伝い   | 5 ゴミ出し               | 6 外出の付き添い  |
| 7 災害時の手助け  | 8 買い物や通院など地域内での移動の支援 |            |
| 9 特にない     |                      |            |
| 10 その他 ( ) |                      |            |

【全体の傾向】

地域の中でできる手助けとしては、「3 安否確認の声かけ」が 49.1%と最も高く、次いで、「7 災害時の手助け」が 39.3%、「1 話し相手」が 35.9%と続いている。一方、「9 特にない」は 12.8%となっている。

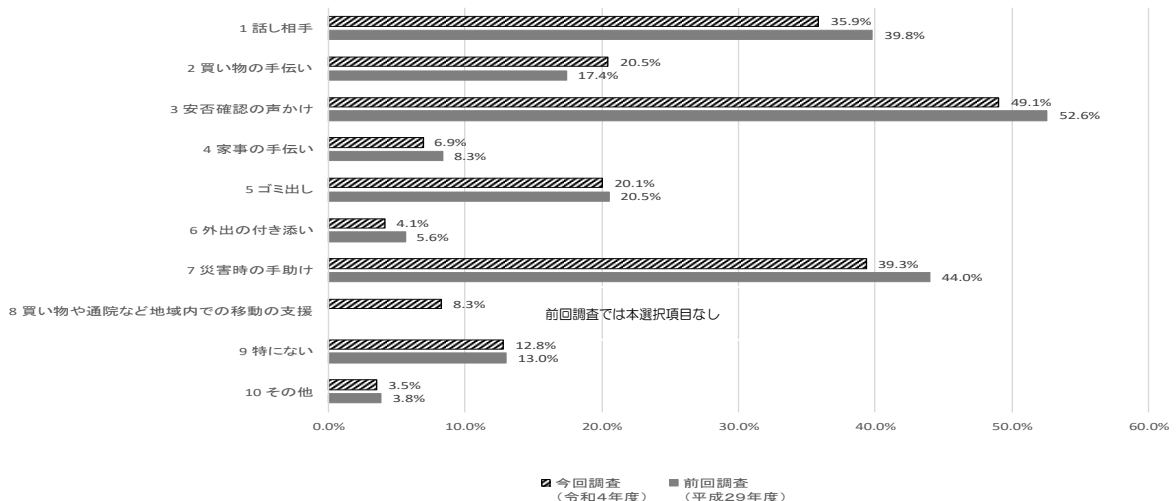
問23 あなたは地域の中でどのような手助けができますか。  
当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査から回答項目を変更したため、単純には比較できないが、「3 安否確認の声かけ」、「7 災害時の手助け」、「1 話し相手」が前回調査より減少したものの、今回調査も高い割合となっている。また、「2 買い物の手伝い」は前回調査より3ポイント以上増加している。



■ 今回調査 (令和4年度) ■ 前回調査 (平成29年度)

- 33 - 【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

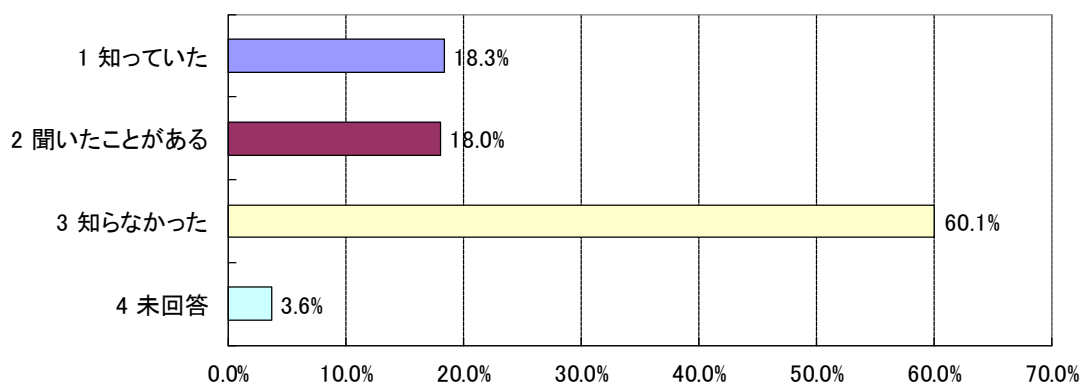
問 24 あなたは、町内福祉村を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |         |            |          |
|---------|------------|----------|
| 1 知っていた | 2 聞いたことがある | 3 知らなかった |
|---------|------------|----------|

【全体の傾向】

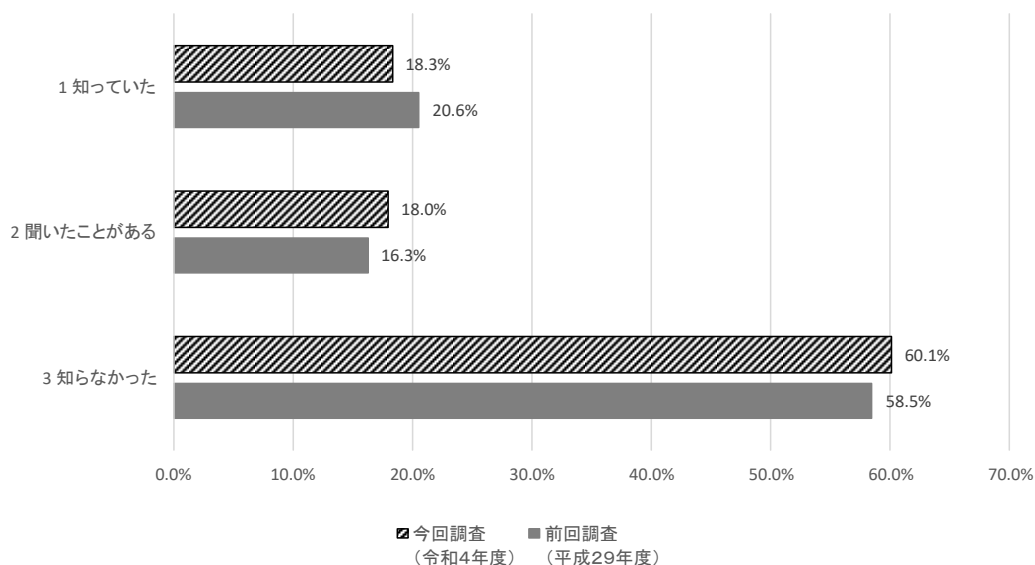
町内福祉村については、「3 知らなかった」が60.1%と最も高く、次いで、「1 知っていた」が18.3%、「2 聞いたことがある」が18%と続いている。

問24 あなたは、町内福祉村を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 知っていた」が2ポイント以上減少しているが、全体的な傾向に変化は見られない。



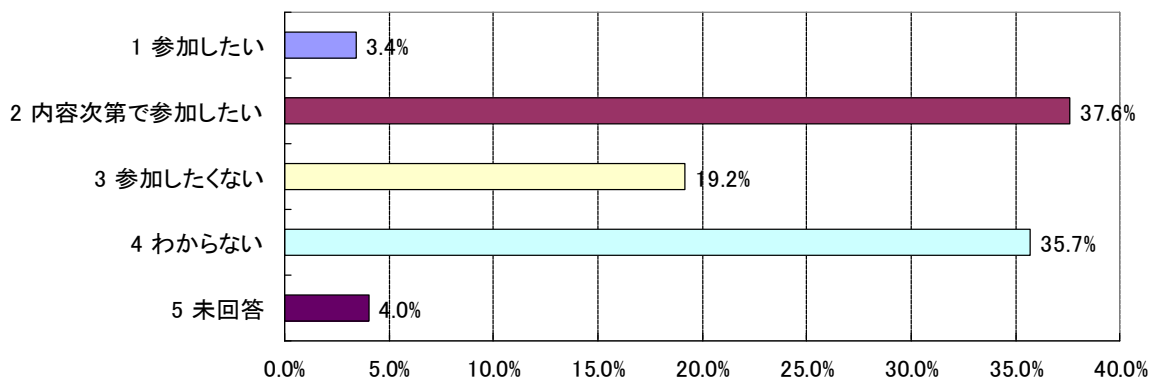
問 25 あなたは、町内福祉村のボランティアとして地域における助け合い活動に参加したいと  
 思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1 参加したい   | 2 内容次第で参加したい |
| 3 参加したくない | 4 わからない      |

【全体の傾向】

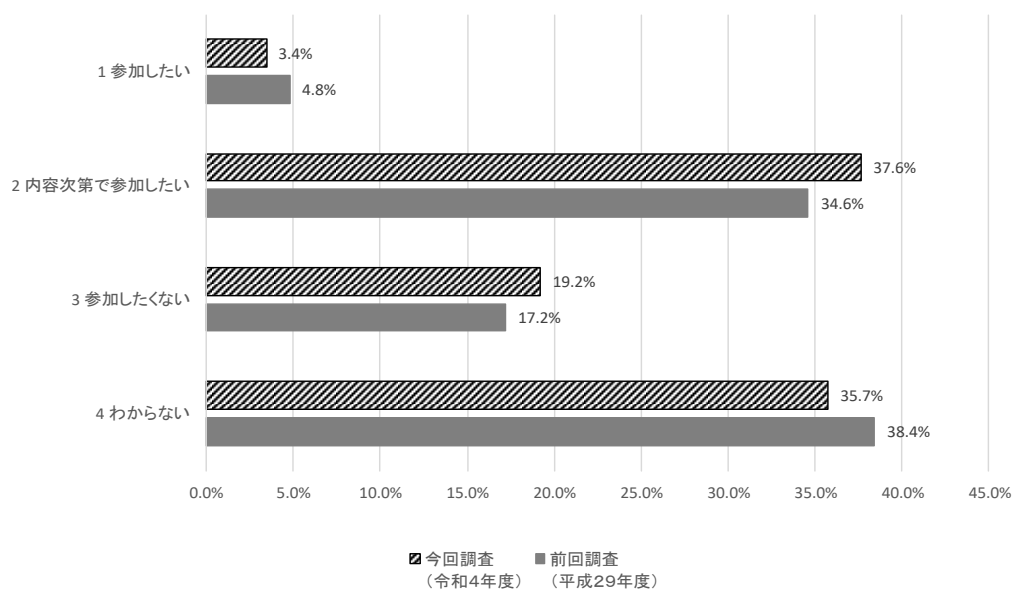
町内福祉村のボランティアとして助け合い活動に参加したいと思うかについては、「2 内容次第で参加したい」が37.6%と最も高く、次いで、「4 わからない」が35.7%、「3 参加したくない」が19.2%と続いている。

問25 あなたは、町内福祉村のボランティアとして地域における助け合い活動に参加したいと  
 思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「2 内容次第で参加したい」が3ポイント増加している。  
 全体的な傾向に変化は見られない。



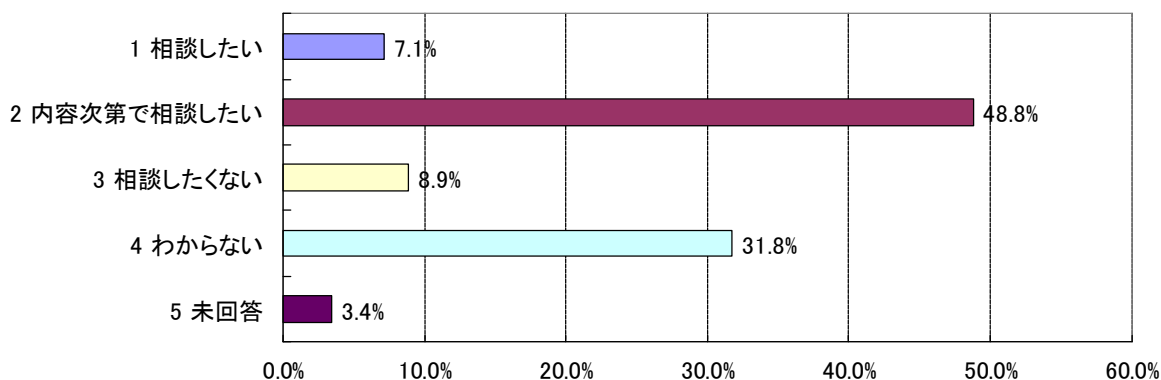
問 26 あなたや家族が困ったとき、町内福祉村に相談したいと思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1 相談したい   | 2 内容次第で相談したい |
| 3 相談したくない | 4 わからない      |

【全体の傾向】

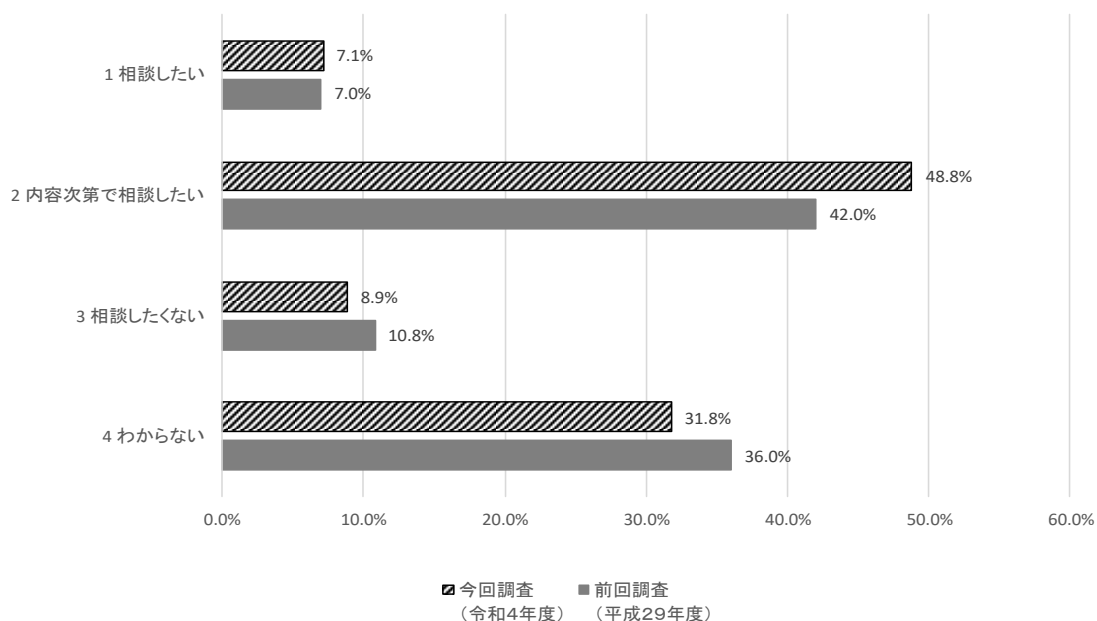
困ったとき、町内福祉村に相談したいと思うかについては、「2 内容次第で相談したい」が 48.8%、次いで、「4 わからない」が 31.8%、「3 相談したくない」が 8.9%と続いている。

問26 あなたや家族が困ったとき、町内福祉村に相談したいと思いますか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「2 内容次第で相談したい」が6ポイント以上増加している。



問 27 あなたは、民生委員児童委員（地域における福祉的な相談員）の活動を  
知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

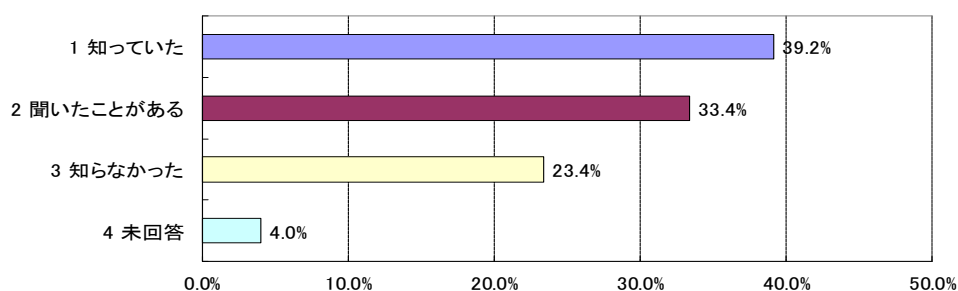
- |         |            |          |
|---------|------------|----------|
| 1 知っていた | 2 聞いたことがある | 3 知らなかった |
|---------|------------|----------|

【全体の傾向】

民生委員児童委員の活動については、「1 知っていた」が 39.2%と最も高く、次いで、「2 聞いたことがある」が 33.4%となっており、「1 知っていた」と「2 聞いたことがある」を合わせると 72.6%となっている。

一方、「3 知らなかった」が 23.4%となっている。

問27 あなたは、民生委員児童委員（地域における福祉的な相談員）の活動を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



※ 今回調査で新たに追加した質問のため、前回調査との比較なし

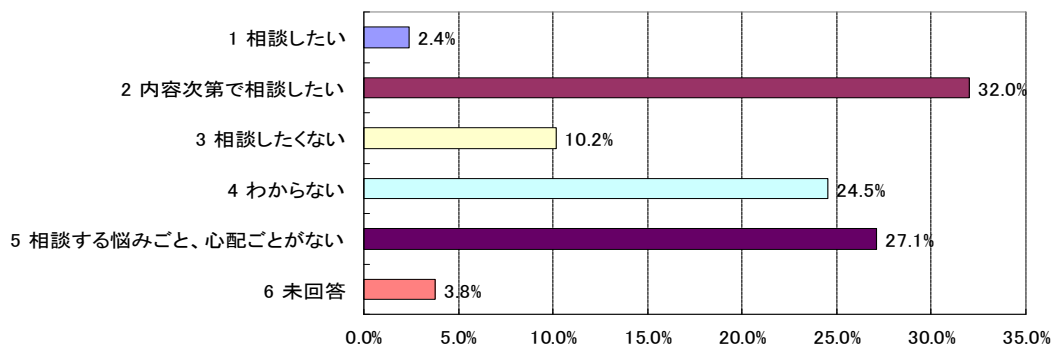
問 28 あなたは、民生委員児童委員に相談したいと思いますか。

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 相談したい            | 2 内容次第で相談したい |
| 3 相談したくない          | 4 わからない      |
| 5 相談する悩みごと、心配ごとがない |              |

【全体の傾向】

民生委員児童委員に相談したいかについては、「2 内容次第で相談したい」が 32%で最も高く、次いで、「5 相談する悩みごと、心配ごとがない」が 27.1%、「4 わからない」が 24.5%と続いている。

問28 あなたは、民生委員児童委員に相談したいと思いますか。



※ 今回調査で新たに追加した質問のため、前回調査との比較なし

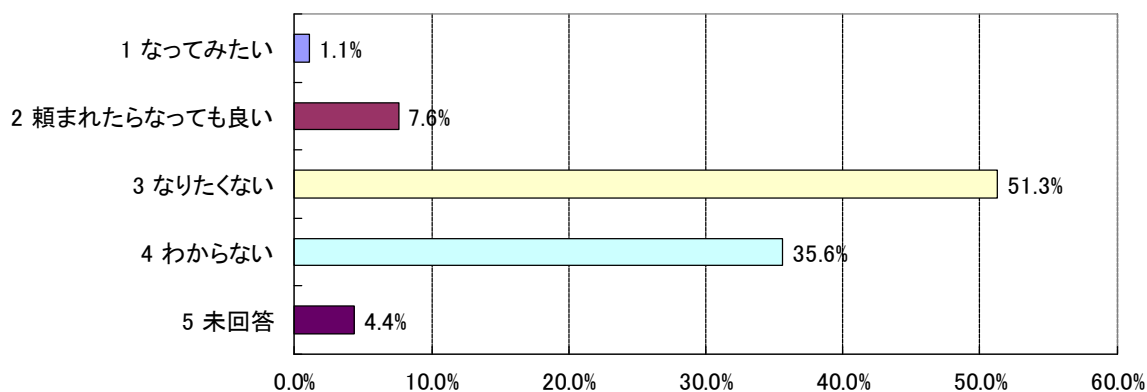
問 29 あなた自身が民生委員児童委員になってみたいと思いますか。

1 なってみたい	2 頼まれたらなくても良い
3 なりたくない	4 わからない

【全体の傾向】

民生委員児童委員になってみたいかについては、「3 なりたくない」が 51.3%と最も高く、次いで、「4 わからない」が 35.6%、「2 頼まれたらなくても良い」が 7.6%と続いている。

問29 あなた自身が民生委員児童委員になってみたいと思いますか。



※ 今回調査で新たに追加した質問のため、前回調査との比較なし



## IV 成年後見制度についておたずねします

問 30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

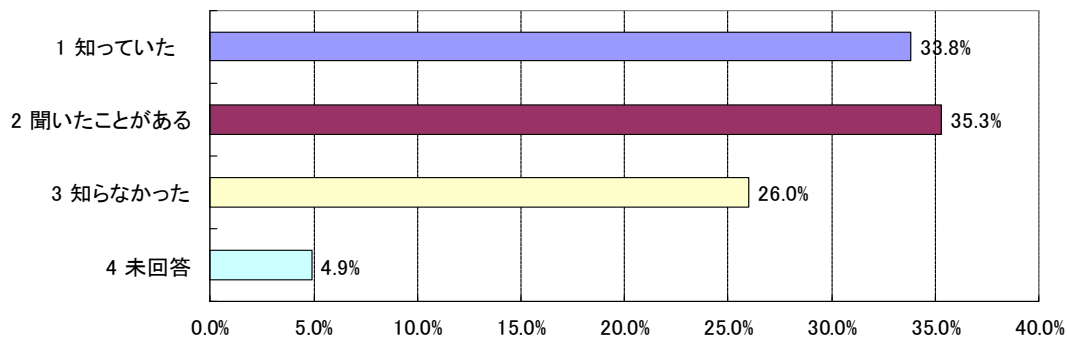
1 知っていた      2 聞いたことがある      3 知らなかった

### 【全体の傾向】

成年後見制度については、「2 聞いたことがある」が35.3%と最も高く、次いで、「1 知っていた」が33.8%と続いている。

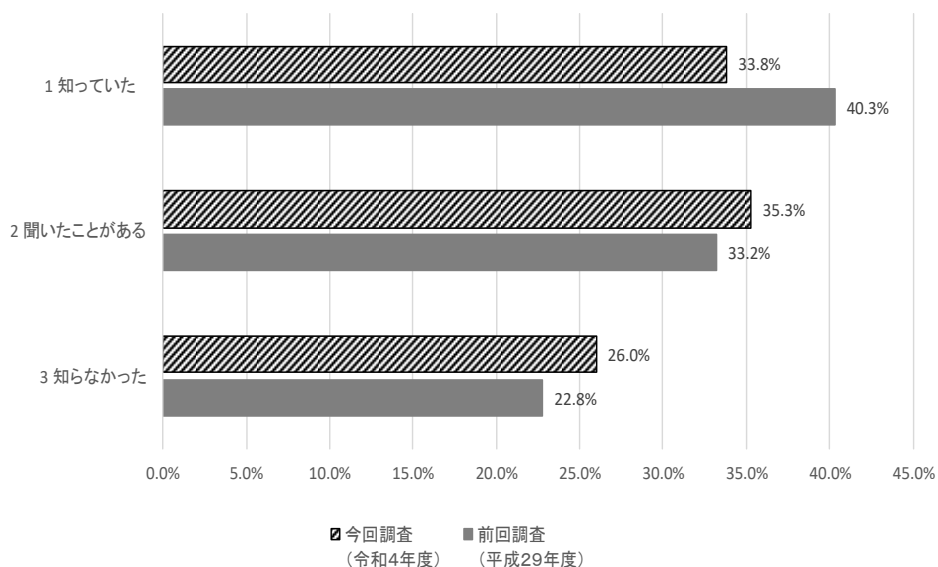
一方、「3 知らなかった」が26%となっている。

問30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



### 【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 知っていた」が6ポイント以上減少しており、今回調査では「2 聞いたことがある」が最も高い割合となっている。



問 31 あなたは、平塚市成年後見利用支援センター（後見センターよりそい）を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

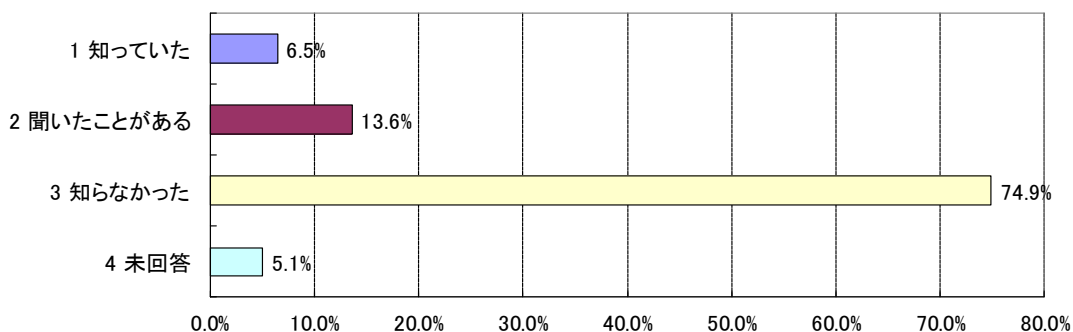
- |         |            |          |
|---------|------------|----------|
| 1 知っていた | 2 聞いたことがある | 3 知らなかった |
|---------|------------|----------|

【全体の傾向】

平塚市成年後見利用支援センターについては、「3 知らなかった」が74.9%と最も高くなっている。

一方、「2 聞いたことがある」が13.6%、「1 知っていた」が6.5%となっている。

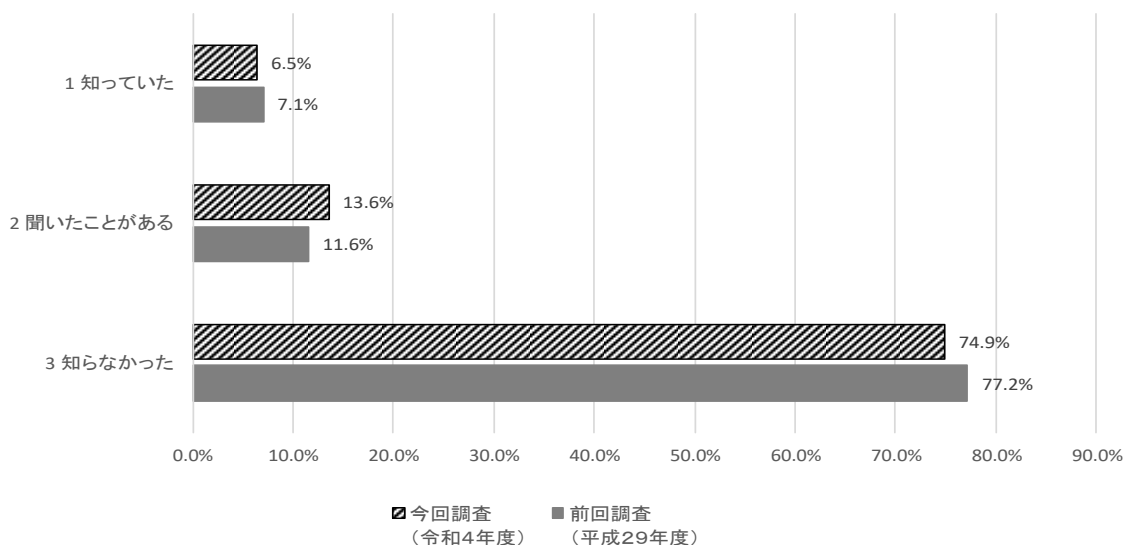
問31 あなたは、平塚市成年後見利用支援センター(後見センターよりそい)を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「2 聞いたことがある」が2ポイント増加しており、「3 知らなかった」が2ポイント以上減少している。

全体的な傾向に変化は見られない。



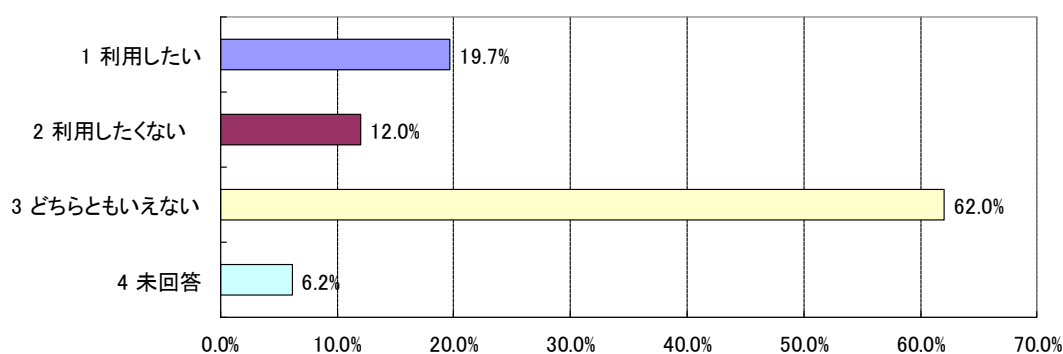
問 32 あなたや家族が判断能力が不十分となった時に、「法定後見」を利用したいと  
 思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |             |   |        |
|-------------|---|--------|
| 1 利用したい     | → | 問 34 へ |
| 2 利用したくない   | → | 問 33 へ |
| 3 どちらともいえない | → | 問 33 へ |

【全体の傾向】

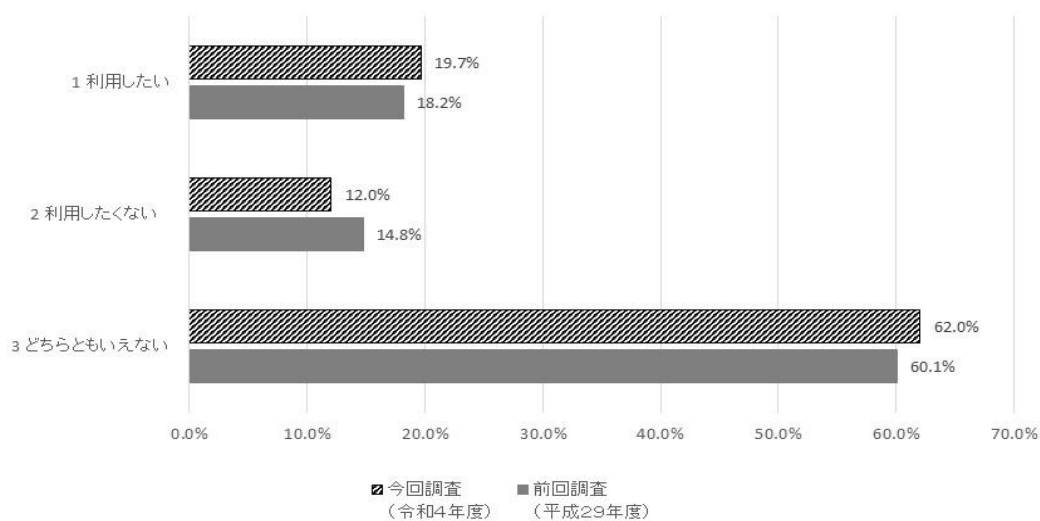
法定後見の利用については、「3 どちらともいえない」が62%と最も高く、次いで、「1 利用したい」が19.7%、「2 利用したくない」が12%と続いている。

問32 あなたや家族が判断能力が不十分となった時に、「法定後見」を利用したいと  
 思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「2 利用したくない」が2ポイント以上減少している。  
 全体的な傾向に変化は見られない。



問 33 【問 32 で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】

あなたが「法定後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

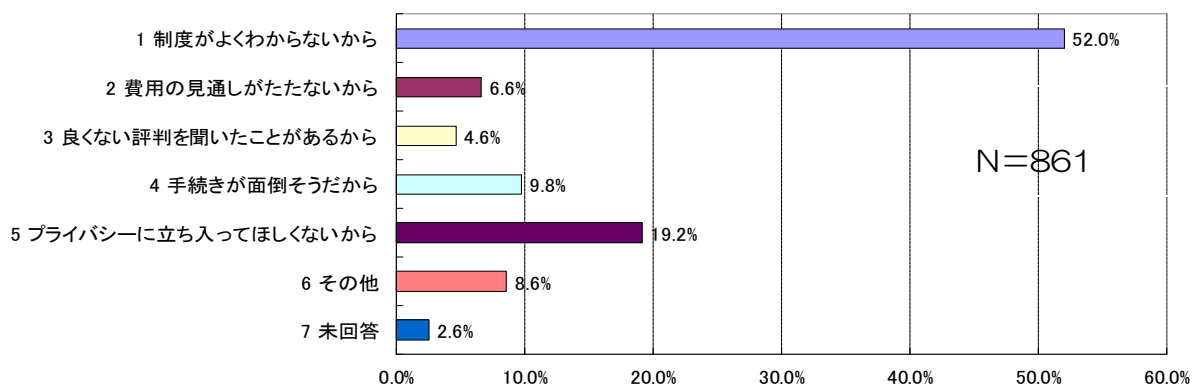
- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 制度がよくわからないから        | 2 費用の見通しがたたないから |
| 3 良くない評判を聞いたことがあるから   |                 |
| 4 手続きが面倒そうだから         |                 |
| 5 プライバシーに立ち入ってほしくないから |                 |
| 6 その他 ( )             |                 |

→ 問 34 へ

【全体の傾向】

法定後見を利用したくない・どちらともいえない理由としては、「1 制度がよくわからないから」が52%と最も高く、次いで、「5 プライバシーに立ち入ってほしくないから」が19.2%、「4 手続きが面倒そうだから」が9.8%と続いている。

問33 【問32で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】  
あなたが「法定後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



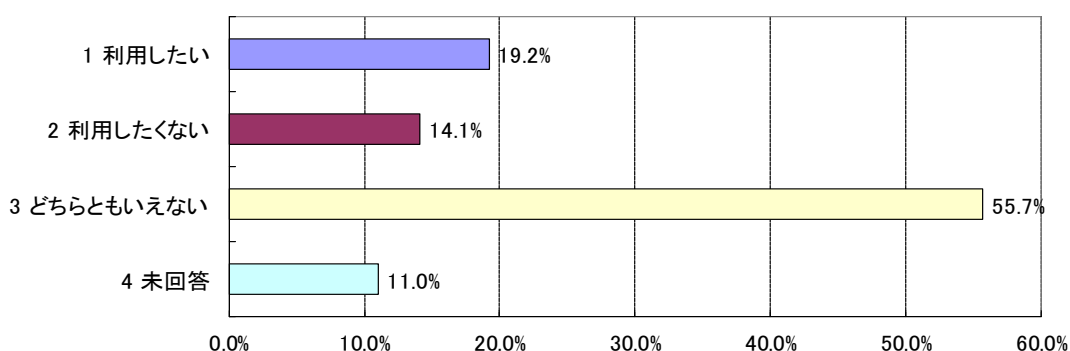
問 34 あなたが将来の判断能力が不十分となった時に備えて、「任意後見」を利用したいと思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

1 利用したい	→	問 36 へ
2 利用したくない	→	問 35 へ
3 どちらともいえない	→	問 35 へ

【全体の傾向】

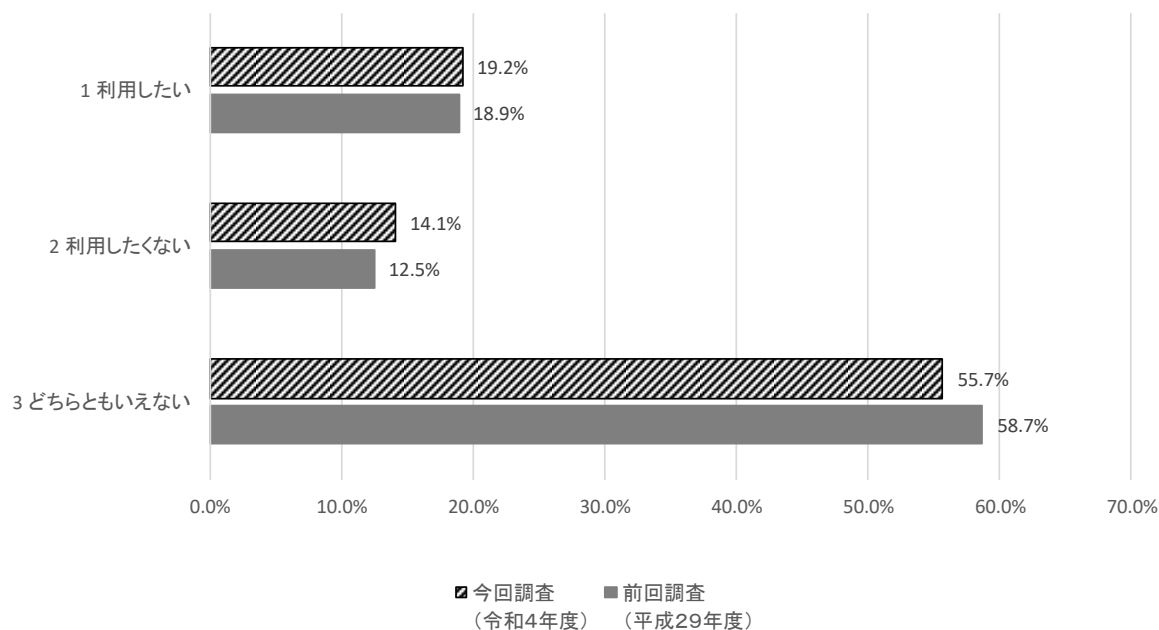
任意後見の利用については、「3 どちらともいえない」が 55.7%と最も高く、次いで、「1 利用したい」が 19.2%、「2 利用したくない」が 14.1%と続いている。

問34 あなたが将来の判断能力が不十分となった時に備えて、「任意後見」を利用したいと思いますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 どちらともいえない」が3ポイント減少している。全体的な傾向に変化は見られない。



問 35 【問 34 で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】

あなたが「任意後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

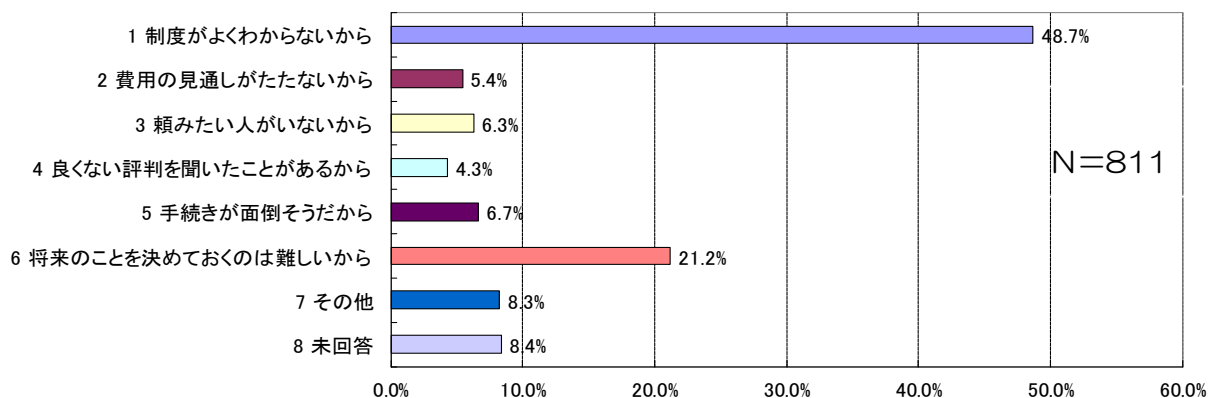
- |                      |  |               |
|----------------------|--|---------------|
| 1 制度がよくわからないから       |  | 3 頼みたい人がいないから |
| 2 費用の見通しがたたないから      |  | 5 手続きが面倒そうだから |
| 4 良くない評判を聞いたことがあるから  |  |               |
| 6 将来のことを決めておくのは難しいから |  |               |
| 7 その他 ( )            |  |               |

➡ 問 36 へ

【全体の傾向】

任意後見を利用したくない・どちらともいえない理由としては、「1 制度がよくわからないから」が 48.7%と最も高く、次いで、「6 将来のことを決めておくのは難しいから」が 21.2%、「7 その他」が 8.3%と続いている。

問35 【問34で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】  
あなたが「任意後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください



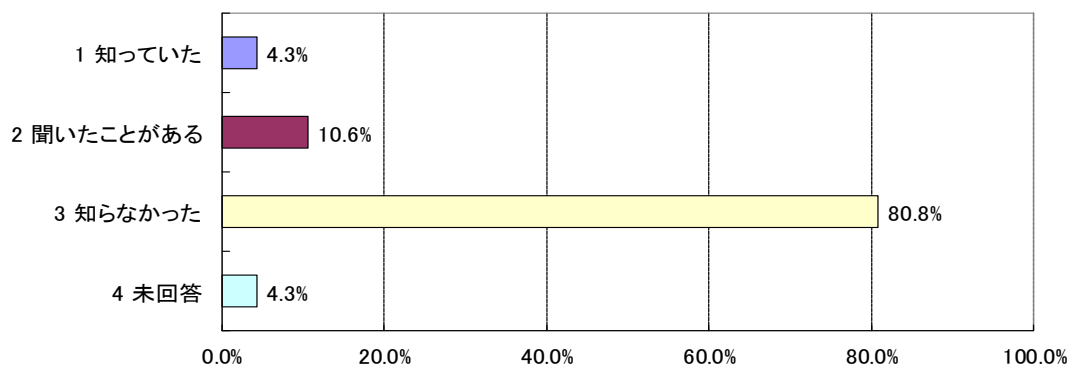
問 36 あなたは、身近な成年後見制度の担い手として期待されている市民後見人（市民後見人養成講座等を修了し、家庭裁判所から選任された市民）について知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |         |            |          |
|---------|------------|----------|
| 1 知っていた | 2 聞いたことがある | 3 知らなかった |
|---------|------------|----------|

【全体の傾向】

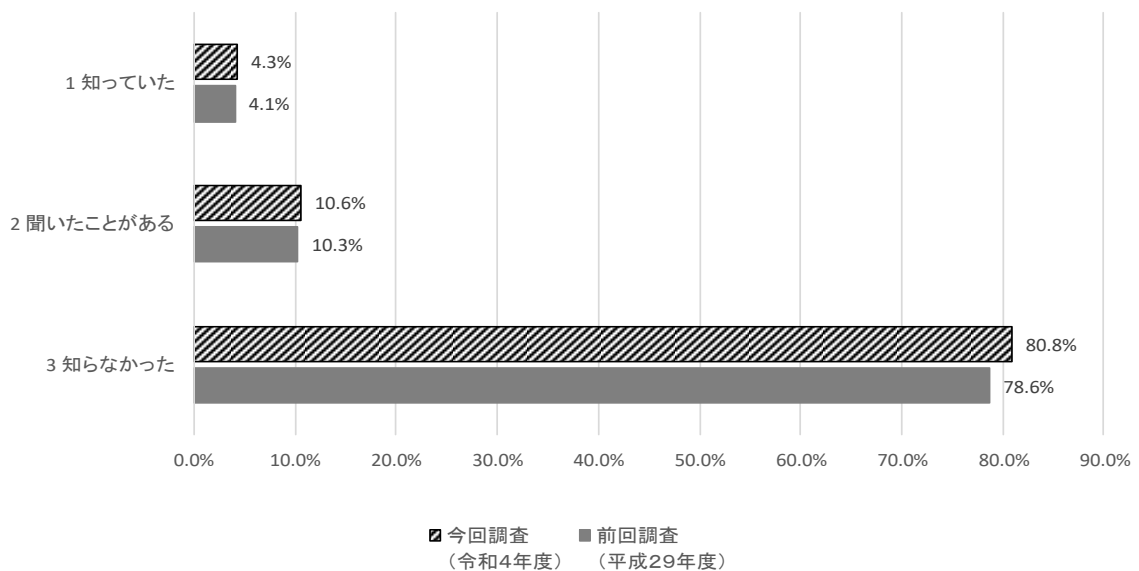
市民後見人については、「3 知らなかった」が80.8%と最も高く、次いで、「2 聞いたことがある」が10.6%、「1 知っていた」が4.3%と続いている。

問36 あなたは、身近な成年後見制度の担い手として期待されている市民後見人（市民後見人養成講座等を修了し、家庭裁判所から選任された市民）について知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 知らなかった」が2ポイント以上増加している。全体的な傾向に変化は見られない。



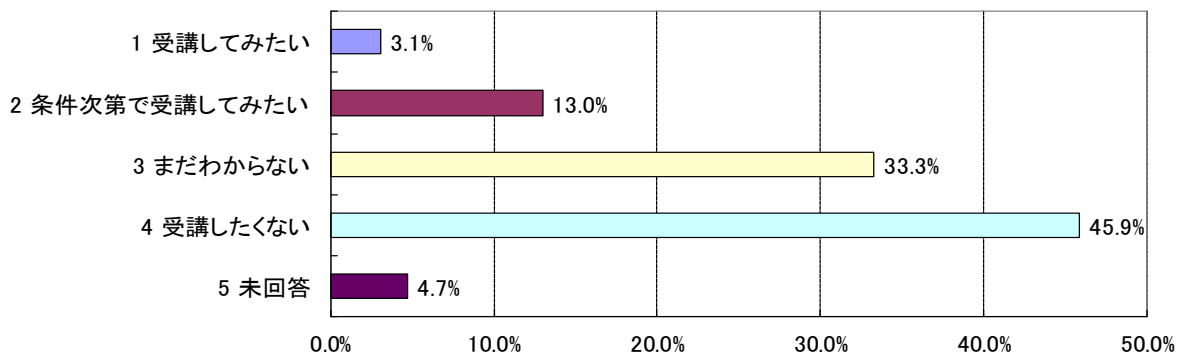
問 37 市民後見人として活動するためには、市民後見人養成講座などの受講が必要となりますが、あなたは受講してみたいですか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1 受講してみたい | 2 条件次第で受講してみたい |
| 3 まだわからない | 4 受講したくない      |

【全体の傾向】

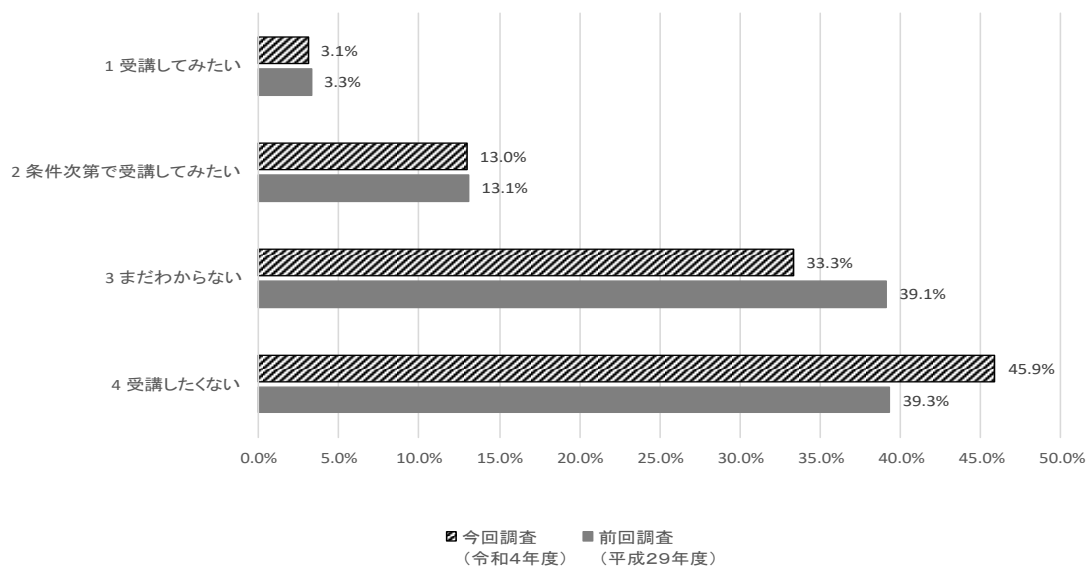
市民後見人養成講座などの受講については、「4 受講したくない」が45.9%と最も高く、次いで、「3 まだわからない」が33.3%、「2 条件次第で受講してみたい」が13%、「1 受講してみたい」が3.1%と続いている。

問37 市民後見人として活動するためには、市民後見人養成講座などの受講が必要となりますが、あなたは受講してみたいですか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「3 まだわからない」が5ポイント以上減少しており、「4 受講したくない」は6ポイント以上増加している。





問 38 これからの地域福祉のあり方、自殺予防や生活困窮者支援、町内福祉村事業や成年後見制度について、ご意見がありましたら、下の自由記載欄へご自由にお書きください。

224人の方から234件のご意見がありました。

【意見の内訳】

○自殺対策	22件
○地域のあり方・交流	18件
○高齢者福祉	18件
○情報発信	15件
○成年後見制度	12件
○相談について	10件
○本調査について	10件
○その他制度全般に関すること	9件
○福祉村	9件
○ボランティア	9件
○支援について	9件
○子育て	9件
○生活困窮	6件
○教育	5件
○障がい福祉	4件
○ごみ対策・環境対策	4件
○交通対策	4件
○民生委員	4件
○雇用対策	1件
○災害対策	1件
○その他	55件



## 第3章 結果の考察

## 結果の考察

今回の調査は、令和6年度から5か年を計画期間とする次期地域福祉リーディングプランの改訂に向けた取組の一環として実施したもので、本調査により市民の皆さまから「地域福祉」に関する御意見をいただき、地域福祉リーディングプラン改訂にあたっての基礎資料とすることを目的に実施しました。

本調査の結果により、次のことが明らかになりました。

### ■Ⅱ 悩みごとや相談などについておたずねします（問5）～（問16）

【経済的なことで悩んでいる人が、前回調査より大幅に増加。個人の状況に寄り添った就労の支援が必要】

#### 悩みごとや困りごと

現在の悩みごとや困りごとでは、前回調査も今回調査でも最も回答の割合が高かったのは、『自分や家族の病気や健康上のこと』と変わりはありませんが、割合は5ポイント以上減少しています。

一方、前回調査では回答率が8.1%だった『経済的なこと』で悩んでいる人は、今回調査では29.9%と大きく増加し、2番目に高い割合となっています。また、「今後の心配ごと」においては、『経済的なこと』は54.4%と更に高い割合となっています。このことに加えて、自殺対策として大切だと思うことや、充実させるべきと思うこととして『就業相談、経済面の債務（借金返済）などの生活に関する相談・支援』が前回調査と比較して大きく増加しています。

これは、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、物価上昇による生活面の先行きの不透明感が背景にあると考えられます。コロナ禍での生活困窮者の増加などから、個人の状況に寄り添った就労の支援を進め、生活の基盤を強化していく必要があります。

また、本質問の回答結果において、複数の項目を回答された方が前回調査より増えており、悩みごとや困りごとが複合化している状況にあることから、支援のための制度と、制度につなぐための相談機関・団体の周知をこれまで以上に進めるとともに、一人ひとりの状況に応じて包括的に支援していく必要があります。

#### 現在の悩みと今後の心配ごと

「現在の悩みごとや困りごと」と「今後の心配ごと」を比較すると、『家族の介護のこと』が、「今後の心配ごと」において、「現在の悩みごとや困りごと」の2倍以上の回答率となっています。

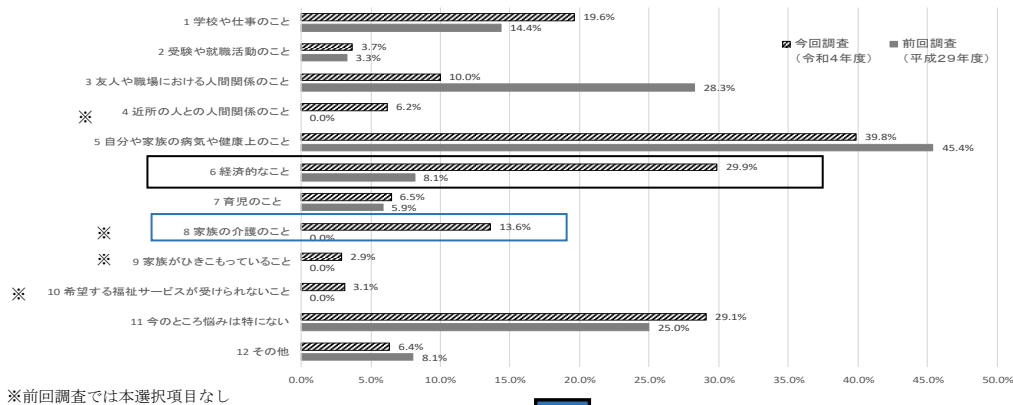
人生100年時代と言われる中、中長期的な視点からも、地域の身近な場所で自主的に介護予防につながる取組を行う場の充実を図るとともに、地域の一番身近な相談窓口である高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）等の活用を促進する必要があります。

一方で、高齢化の進展により介護ニーズの拡大等が予想されることから、担い手となる介護サービス事業等に携わる人材を安定的に確保していくことも必要です。

## 【現在の悩みごと】

問5 現在、あなたはどのようなことで悩みやストレスを感じていますか。

当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。

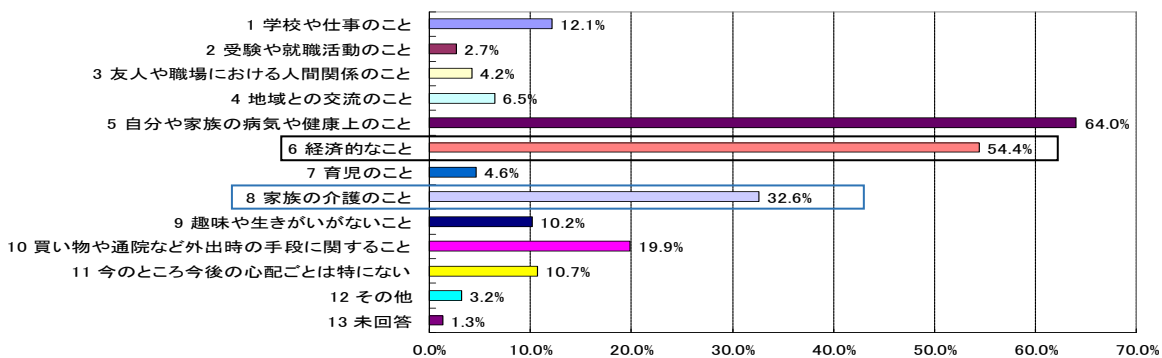


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

## 【今後の心配ごと】

問9 人生100年時代と言われる中で、今後（この先）あなたはどのようなことを

心配していますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

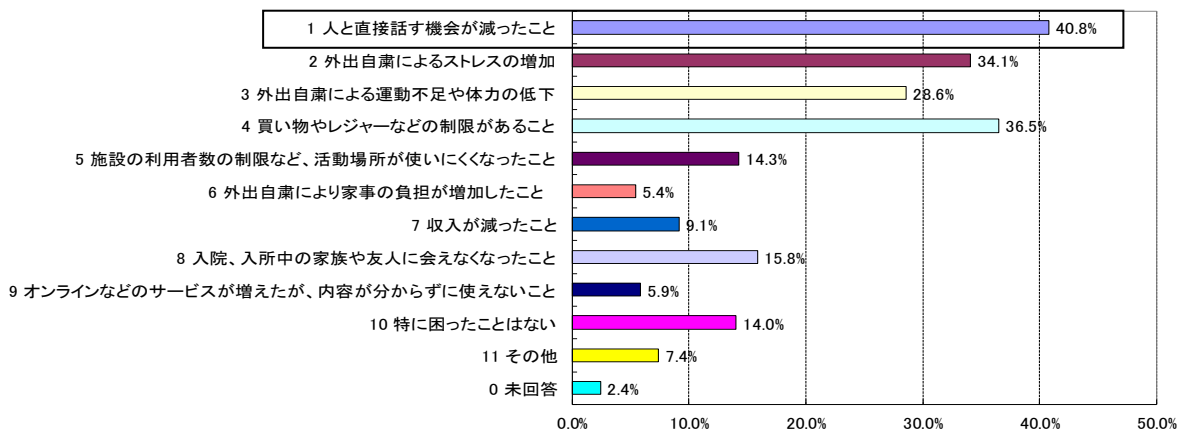
## 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことでは、「人と直接話す機会が減ったこと」が最も高い回答割合でした。感染症の影響により、人と人との関わりの制限やデジタル化が進んでいる中、人と直接話すことの価値はこれまで以上に高まっていると考えられます。

感染症の影響により自粛せざるを得なかった地域活動が活発になるよう後押しし、人と地域・人と人とのつながりが生まれる場を充実させる必要があります。

問8 あなたが、新型コロナウイルス感染症の影響で困ったことは何ですか。

当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

## 【特に若年層の悩みや不安に寄り添うなどの自殺対策を進めることが必要】

### 自殺対策

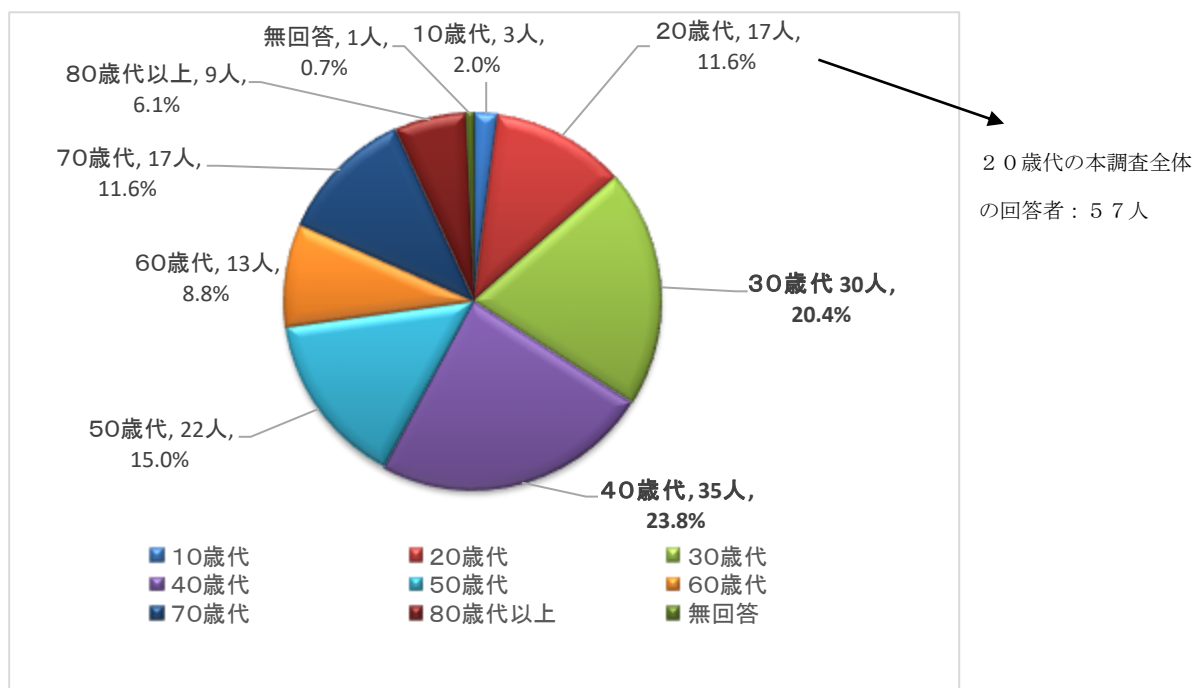
[クロス集計]

自殺を考えるほど深刻に悩んだことが、『ある』と回答した人（147人）のうち、30歳代が30人、40歳代が35人となっており、この2つの年代を合わせると、全体の44%を超えています。また、20歳代の調査回答者（57人）のうち、自殺を考えるほど深刻に悩んだことがある人（17人）の割合が約30%と年代別では最も高くなっています。さらに、自殺対策として大切だと思うことや、充実させるべきと思うこととして『若年層への「いのちの大切さ」を学ぶ教育』が最も多い回答となっているほか、自由意見でも若者への自殺対策の充実に関する意見が多くありました。

このことから、これらの年代に対して悩みや不安に寄り添うなどの自殺対策に取り組むとともに、若年層へのいのちの大切さを学ぶ教育を充実させる必要があります。

また、全国的には、悩みを抱えた若者を交流サイト（SNS）で誘い、命を奪う犯罪が発生しています。SNSでの相談においては、若者を適切な相談に導くために、安心安全な利用を促していく必要があります。

【問10関連】自殺を考えるほど深刻に悩んだことが、『ある』と回答した人（147人）の年代別の結果[クロス集計]



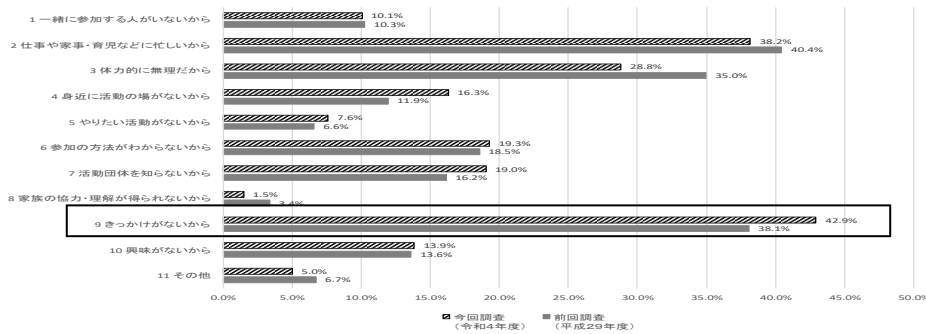
### ■Ⅲ ボランティア活動、地域交流などについておたずねします（問17）～（問29）

【ボランティア活動を始めたい人にきっかけづくりを進めることで活動につなげるとともに、引き続き、町内福祉村の新規設置を促進することが必要】

ボランティア活動をしたことがない理由として、『きっかけがないから』が前回調査から増加して、最も多い理由となっています。ボランティア活動を始めたい人の潜在的なニーズはあることから、ボランティア活動の情報や活動の場を積極的に提供し、実際の活動につなげていくことが必要です。

問19 【問17で「3 活動したことがない」を選択された方にお伺いします】

ボランティア活動したことがない理由は何ですか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

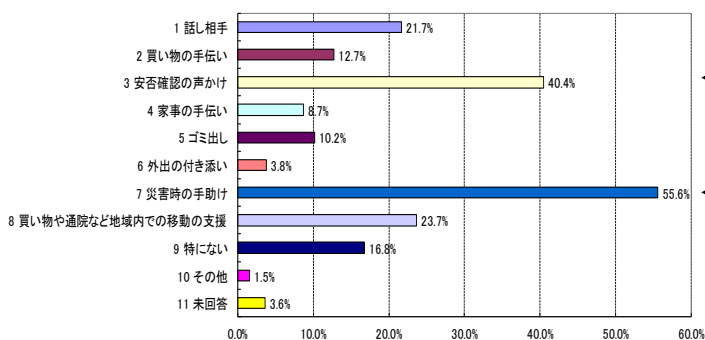
#### [クロス集計]

町内福祉村の知名度を「町内福祉村が設置されている地区」と「設置されていない地区」に住んでいる人で比較したところ、設置地区では『知っている』もしくは『聞いたことがある』と回答した人の割合は約41%、未設置地区は約24%と大きな差異があることが明らかになりました。このことから、市内全域に支え合いの輪を広げるために、引き続き、未設置地区に対して町内福祉村の意義を伝え、設置を促進する必要があります。

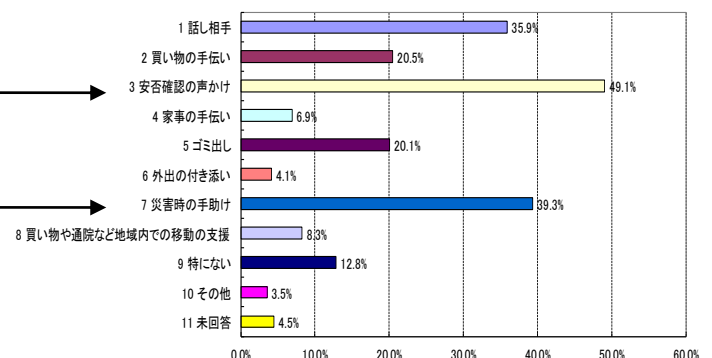
また、困ったときに地域で手助けして欲しいこととして、『災害時の手助け』が前回調査に引き続き、最も高い割合となっています。これは、首都直下型地震や南海トラフ地震などの切迫性も指摘される中、令和元年東日本台風（令和元年台風第19号）や令和3年7月3日の大雨においては、本市でも様々な被害が発生したことが理由として考えられます。災害に強い地域づくりを進めるには地域の力が不可欠であることから、市民の災害時の助け合いの意識や行動が高まるよう、取り組む必要があります。

さらに、回答者の多くが、地域でできる手助けと、困ったときにして欲しいこととして『安否確認の声かけ』や『災害時の手助け』と一致しており、両者の思いを地域の中で繋いでいく必要があります。

問22 あなたや家族が困ったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



問23 あなたは地域の中でどのような手助けができますか。当てはまるものを3つまで選び、マルで囲んでください。



## ■Ⅳ 成年後見制度についておたずねします（問30）～（問37）

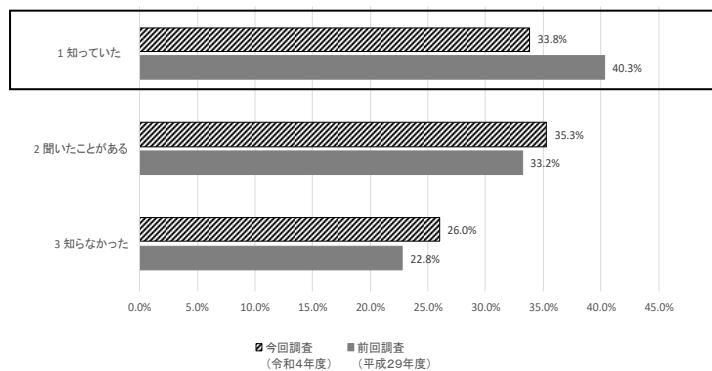
【当事者や関係機関が制度を理解するために、広く分かりやすい周知が必要】

成年後見制度の認知度について、前回調査と比較すると『知っていた』人の割合が6ポイント以上減少しています。また、「法定後見」と「任意後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由としては、ともに『制度がよくわからないから』が最も高くなっています。

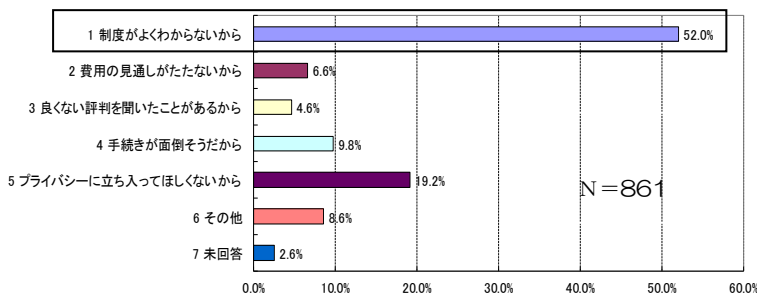
一方で、自由意見では『本調査をきっかけに成年後見制度について学びたいと思った』や『制度の説明会に参加したいと思った』などの回答がありました。

このことから、当事者や当事者を支える関係機関が制度を理解するために分かりやすい情報を発信し、周知を広く進めていく必要があります。

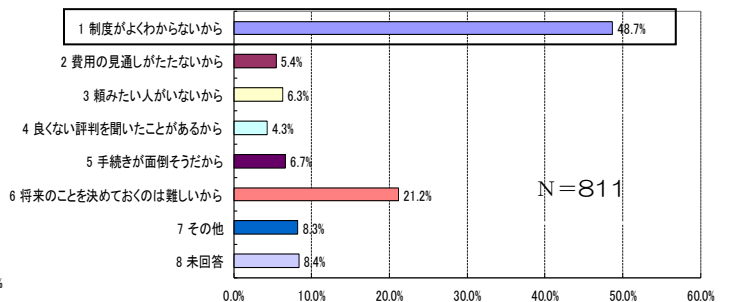
問30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



問33 【問32で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】  
あなたが「法定後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。



問35 【問34で「2 利用したくない」「3 どちらともいえない」を選択された方にお伺いします】  
あなたが「任意後見」を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。  
次の中から1つ選び、マルで囲んでください。





## 令和4年度 地域福祉に関する市民意識調査結果報告書

編集・発行 平塚市福祉部福祉総務課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話 0463-23-1111 (代表)

0463-21-9848 (ダイヤルイン)

e-mail [fukushi@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:fukushi@city.hiratsuka.kanagawa.jp)



手をつなぎたくなる街